

バリアフリー施設等データ整備仕様 (案)

〇〇年〇月

国土交通省 政策統括官付

バリアフリー施設等データ整備仕様 目次

1. はじめに	1
1. 1 目的	1
1. 2 適用範囲	2
1. 3 データの種類	2
2. データの基本的な考え方	6
2. 1 データの構造	6
2. 2 座標系	7
3. バリアフリー施設等データの整備仕様	8
3. 1 一般	8
3. 2 対象とする施設及び情報	8
3. 3 「施設」データの整備仕様	9
3. 3. 1 施設データの整備仕様	9
3. 3. 2 施設属性の整備仕様	26
3. 4 「バリアフリー設備」データの整備仕様	41
3. 4. 1 バリアフリースイッチデータの整備仕様	41
3. 4. 2 バリアフリー対応エレベーターデータの整備仕様	49
3. 4. 3 車椅子利用者用駐車施設等データの整備仕様	59
3. 4. 4 乳幼児用施設データの整備仕様	67
3. 4. 5 出入口データの整備仕様	72
3. 5 「写真」データの整備仕様	78
3. 5. 1 写真データ管理用ファイルの整備仕様	78
3. 6 「利用時間」データの整備仕様	81
3. 6. 1 利用時間データの整備仕様	81
3. 7 バリアフリー施設等データのデータフォーマット	86

1. はじめに

1. 1 目的

「バリアフリー施設等データ整備仕様」（以下「本仕様」という。）は、歩行空間における移動支援サービスの提供に際し、重要な役割を担う「歩行空間ネットワークデータ」と「バリアフリー施設等データ」のうち、「バリアフリー施設等データ」の整備内容及びデータ構造を定めたものである。

【解説】

障害の有無や年齢、言語等に関わらず誰もが自由に自律的に移動できるユニバーサルな社会の実現に向け、歩行空間における移動支援サービスの普及促進が求められる。

歩行空間における移動支援サービスとは、歩行空間にある段差や急勾配等のバリアを避けた最短ルートを選択や案内を行うことで、人や自動配送ロボット等のスムーズな移動や活動の支援を行うサービスである。

歩行空間における移動支援サービスの提供に際し、「測位技術」、「携帯情報端末」、「各種データ」の3要素が必要である。このうち本仕様は、歩行空間における移動支援サービスの提供に必要な各種データのうち、「バリアフリー施設等データ」について仕様を定めたものである。

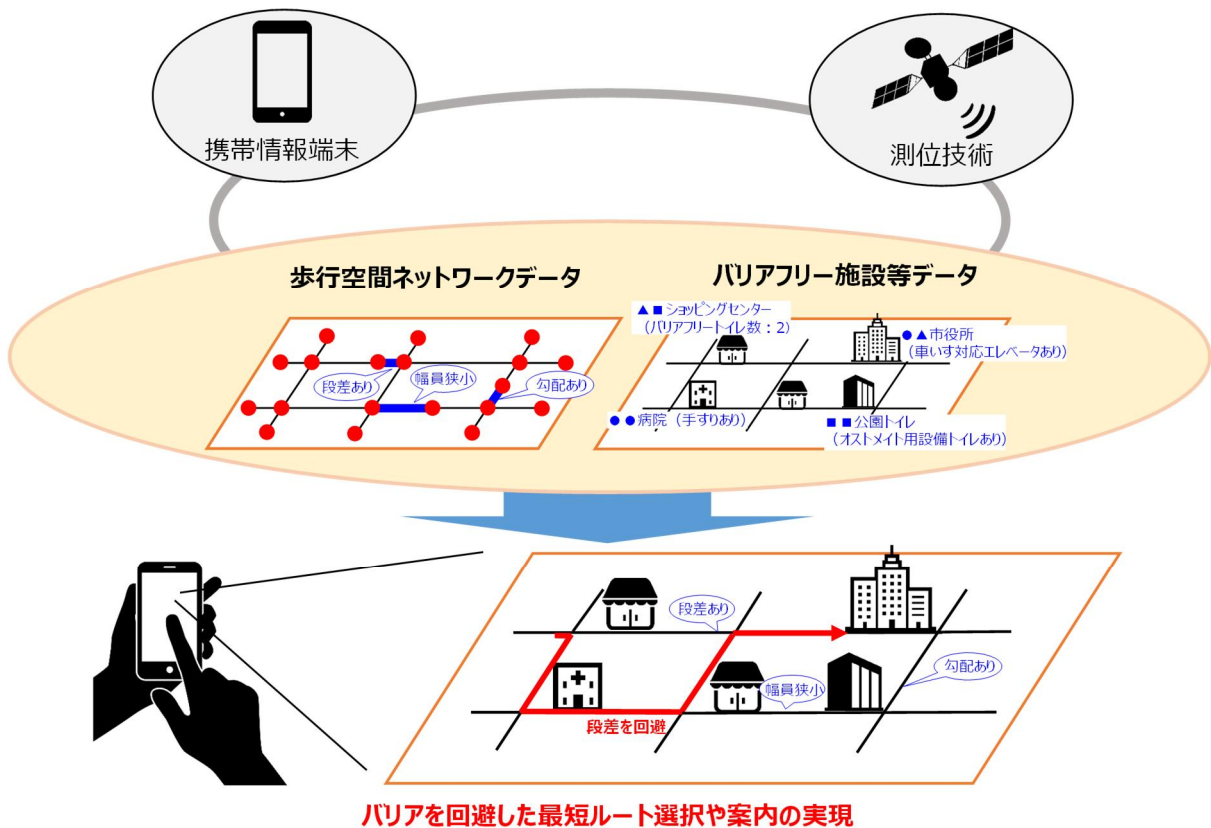


図 1. 1. 1 歩行空間における移動支援サービスの構成要素

1. 2 適用範囲

本仕様の適用範囲は、バリアフリー施設等データとする。

1. 3 データの種類

バリアフリー施設等データは、「施設」、「バリアフリー設備」の2種のデータで構成され、それぞれの位置情報やバリアフリー情報等を含むデータである。

「施設」データは、より詳細な施設の情報を格納する「施設属性」を別途定義する。

「施設属性」は、トイレ、エレベーター、駐車場、その他施設に関する情報を定義する。

「バリアフリー設備」データは、バリアフリートイレ、バリアフリー対応エレベーター、車椅子利用者用駐車施設等、乳幼児用施設、出入口に関する情報を定義する。

その他、「施設」、「バリアフリー設備」の写真を示すデータとして「写真」データ、詳細な利用時間を示すデータとして「利用時間」データをそれぞれ定義する。

【解説】

バリアフリー施設等データは、「施設」、「バリアフリー設備」の名称や位置情報、バリアフリーの対応状況を表すデータである。

「施設」データは、公共施設や観光施設、商業施設等の情報を対象とする。「施設属性」は、公共施設や観光施設等の施設内にあるトイレやエレベーター、駐車場等について、「施設」データに対し追加可能な情報を定義する。「施設」データは、施設全体を示す情報として整備する。

「バリアフリー設備」データは、バリアフリートイレ^{※1}やバリアフリー対応エレベーター^{※2}、車椅子利用者用駐車施設等^{※3}、乳幼児用施設^{※4}、出入口^{※5}におけるバリアフリーに関する詳細項目を定義する。「バリアフリー設備」データは、対象となる区画毎に整備する。バリアフリートイレ及びバリアフリー対応エレベーターは、個室・籠毎に整備する。車椅子利用者用駐車施設等は連続する対象範囲等一定の区画のまとまりを1区画として、乳幼児用施設は対象範囲を1区画として整備する。出入口は、設置場所毎に整備する。

「写真」データは、「施設」、「バリアフリー設備」の写真に関する情報を定義する。

「写真」データは、施設やバリアフリー設備の状況等を記録する写真を整備する。

「利用時間」データは、「施設」、「バリアフリー設備」の利用時間に関する情報を定義する。

「施設」、「バリアフリー設備」、「写真」、「利用時間」には、IDを設定し関連付けを行う（図 1.3.1 参照）。

- ※1：車椅子使用者用トイレ（大型ベッド付きを含む）、オストメイト用設備を有するトイレ、乳幼児用設備（乳幼児用おむつ交換台、乳幼児用椅子、等）を有するトイレ、男女共用の広めのトイレ等を対象とする。
- ※2：車椅子使用者や視覚障害者、聴覚障害者等が利用可能な設備（車椅子使用者対応のボタン、ボタンの点字表示、音声案内、等）を有するエレベーターを対象とする。
- ※3：幅 3.5m 以上が確保された車椅子使用者用駐車施設、及び移動に配慮が必要な者（高齢者、障害者、妊産婦等）向けに設置された優先駐車区画を対象とする。
- ※4：授乳・搾乳やおむつ交換に対応したスペース（ベビー休憩室）を対象とする。
- ※5：施設と施設の外部とを接続する出入口を対象とする。（施設内部の出入口は対象外とする。）

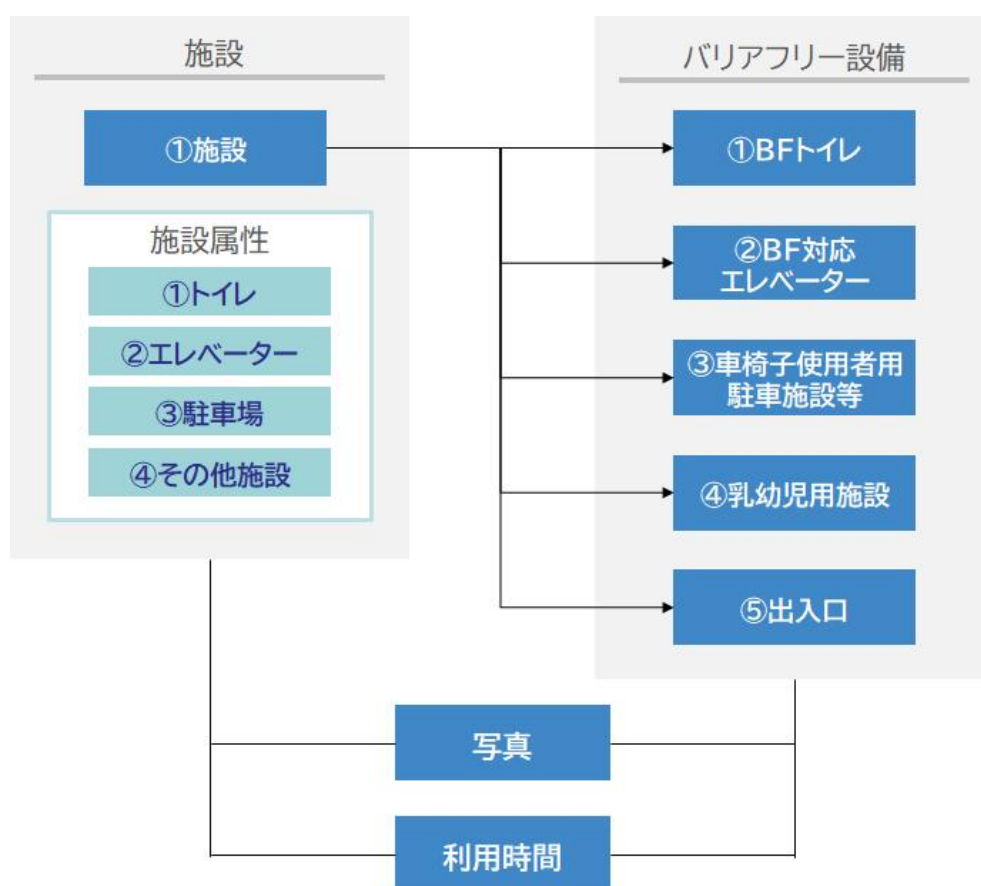
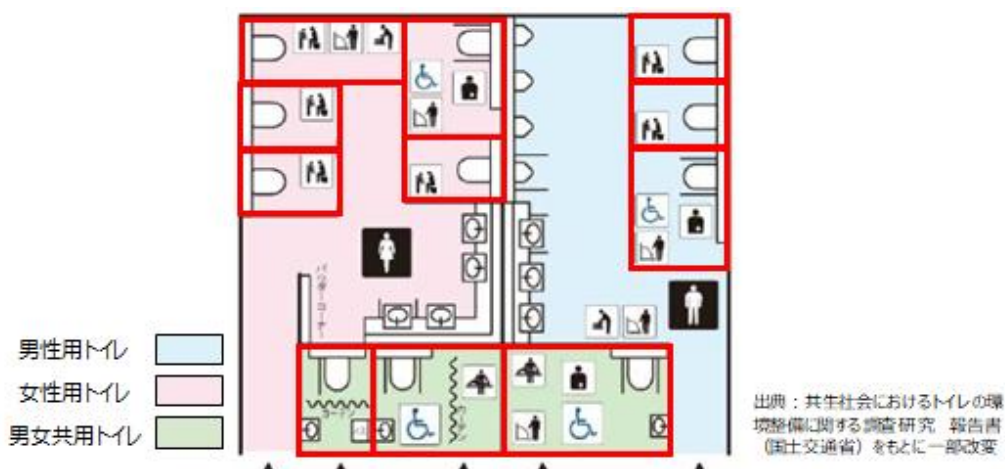


図 1. 3. 1 バリアフリー施設等データの構成

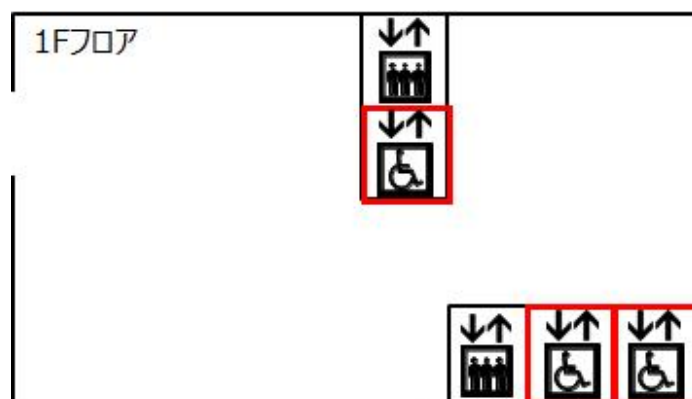
表 1. 3. 1 対象とするデータの取得範囲

データの種類		データの取得範囲
「施設」データ	施設	対象の施設全体を1つのデータとして取得
	施設属性	対象の施設全体を1つのデータとして取得
「バリアフリー設備」データ	バリアフリースイートイレ	バリアフリースイートイレの各個室を1つのデータとして取得
	バリアフリー対応エレベーター	バリアフリー対応エレベーターの各基を1つのデータとして取得
	車椅子利用者用駐車施設等	車椅子利用者用駐車施設等が連続する対象範囲等一定の区画のまとまりを1つのデータとして取得
	乳幼児用施設	乳幼児用施設の各対象範囲を1つのデータとして取得
	出入口	出入口の各対象範囲を1つのデータとして取得



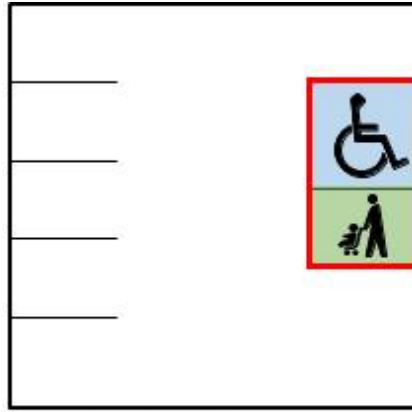
バリアフリーに対応しているトイレの個室毎にデータを整備

図 1. 3. 2 バリアフリー設備（バリアフリースイートイレ）の整備単位



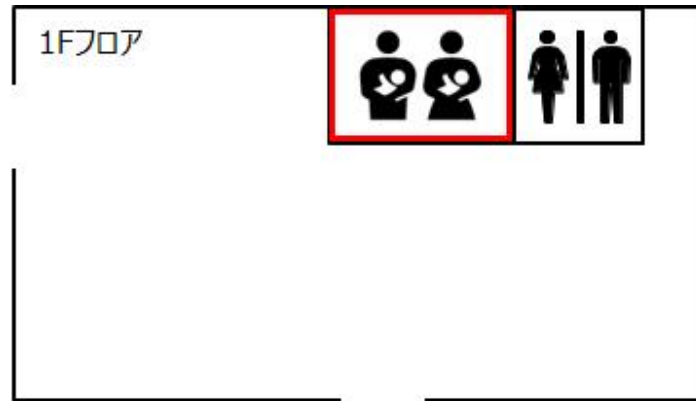
バリアフリーに対応しているエレベーター毎にデータを整備

図 1. 3. 3 バリアフリー設備（バリアフリー対応エレベーター）の整備単位



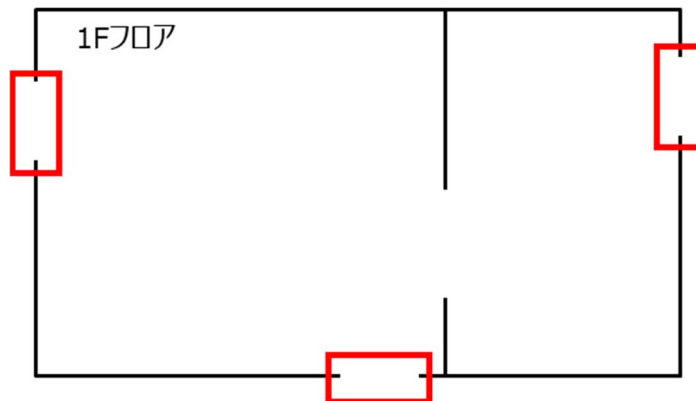
バリアフリーに対応している駐車区画のまとまり毎にデータを整備

図 1. 3. 4 バリアフリー設備（車椅子使用者用駐車施設等）の整備単位



乳幼児用施設の区画毎にデータを整備

図 1. 3. 5 バリアフリー設備（乳幼児用施設）の整備単位



出入口毎にデータを整備

図 1. 3. 6 バリアフリー設備（出入口）の整備単位

2. データの基本的な考え方

2. 1 データの構造

本仕様では、バリアフリー施設等データのデータ構造について、基本情報（名称、緯度経度等）で構成する優先項目と、データ整備者の判断により選択・追加が可能な情報項目に分けて定義する。

- 優先項目
- 建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- その他あると望ましい情報項目
- データ整備者にて独自に追加する情報項目（本仕様では定義しない）

【解説】

バリアフリー施設等データは、基本情報（名称、緯度経度等）で構成する「優先項目」のほか、地域のニーズへの対応やサービスの高度化に向けて、データ整備者の判断により情報項目を選択・追加することができる。

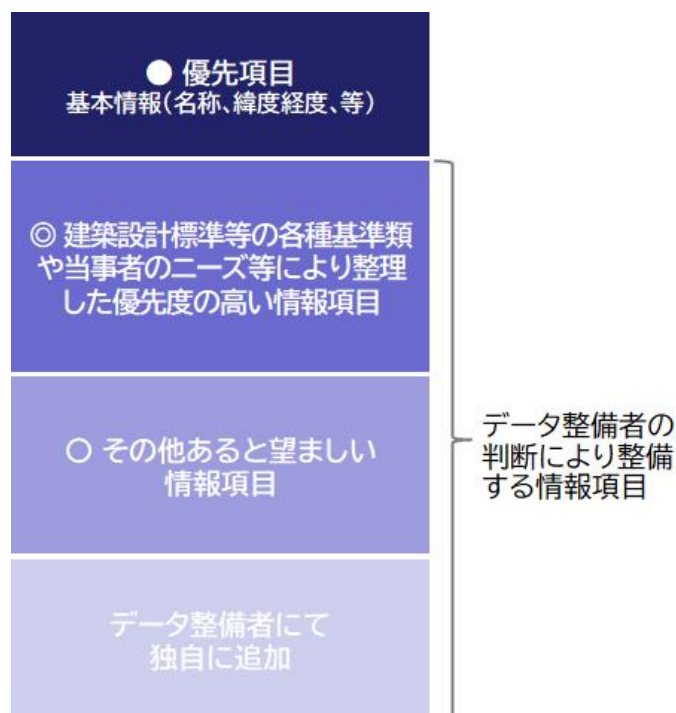


図 2. 1. 1 データ構造のイメージ



図 2. 1. 2 データの利用イメージ

2. 2 座標系

本仕様で扱うデータの座標系は、世界測地系緯度経度座標である測地成果 2024 (JGD2024) とする。

3. バリアフリー施設等データの整備仕様

3. 1 一般

本項は、バリアフリー施設等データに付与される情報項目と、情報項目ごとに取得する属性情報に関する仕様を定めたものである。

3. 2 対象とする施設及び情報

バリアフリー施設等データを整備する対象施設は、施設管理者や利用者のニーズへの対応や対象とするサービスを考慮し設定する。

【解説】

歩行空間における移動支援サービスは、高齢者や障害者、ベビーカー利用者等が移動先とする目的地や移動中に立ち寄る可能性のある施設が対象となる。バリアフリー施設等データとして整備する施設は、下表を参考に選択する。

表 3. 2. 1 対象とする施設の例

No.	施設種別	施設の種類
1	官公庁等	都道府県庁、市役所・区役所、役場
		郵便局、銀行、ATM
		警察署（交番含む）、裁判所
		市民・地区センター、コミュニティーセンター等
		都道府県税事務所、税務署
2	教育文化施設等	図書館
		市民会館、市民ホール、文化ホール
		学校（小学校・中学校・高等学校・大学・特別支援学校等）
		公民館
3	保健・医療・福祉施設	病院・診療所
		総合福祉施設、老人・障害者福祉施設等
4	商業施設	大規模小売店舗等
		商店街等（地下街、飲食店含む）
5	宿泊施設	ビジネスホテル、シティホテル、旅館等
6	公園・運動施設	公園
		体育館・武道館その他屋内施設
7	交通施設	鉄道駅、タクシー乗り場、バス乗り場等
8	公共トイレ（単体）	公共トイレ
9	その他の施設	結婚式場、葬祭場等冠婚葬祭に関わる施設
		観光施設
		路外駐車場
		駐輪場

出典：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（2021年3月 国土交通省）を参考に一部追記して作成

3.3 「施設」データの整備仕様

3.3.1 施設データの整備仕様

(1) 施設データの情報項目と属性情報

施設データに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3.3.1 施設データの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者ニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他であると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	全国地方公共団体コード	lgCode	文字列 (半角数字)	全国地方公共団体コード6桁	●
2	施設ID	facilId	文字列(半角 英数字)	施設のID	●
3	名称	name	文字列	施設の名称	●
4	名称_カナ	nameKana	文字列 (全角)	施設の名称(カナ)	●
5	名称_英語	nameEn	文字列(半角 英数字)	施設の名称(英語)	●
6	所在地	address	文字列	施設の所在地(都道府県から建物名等までを連結した表記)	●
7	緯度	latitude	数値	施設の中心位置の緯度 (10進法表記、小数点以下6桁での記載を推奨)	●
8	経度	longitude	数値	施設の中心位置の経度 (10進法表記、小数点以下6桁での記載を推奨)	●
9	階数	floor	文字列	建物において施設が位置するフロアの階数	●
10	電話番号	phone	文字列	電話番号	●
11	施設種別	type	コード	1:官公庁等、2:教育文化施設等、3:医療施設、 4:保健・福祉施設、5:商業施設、6:宿泊施設、 7:公園・運動施設、8:観光施設、9:交通施設、 10:公共トイレ(単体)、99:その他の施設	●
12	車椅子貸出	r_wRental	コード	1:有、2:無	○
13	ツエ貸出	r_cRental	コード	1:有、2:無	○
14	ベビーカー貸出	r_sRental	コード	1:有、2:無	○
15	手すり	a_handrail	コード	1:有、2:無	○
16	エレベーター	a_elevator	コード	1:有、2:無	◎
17	車椅子使用者対応 エレベーター	a_eWheelch	コード	1:有、2:無	○

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
18	視覚障害者対応エレベーター	a_eVImpair	コード	1:有、2:無	○
19	段差解消機	a_wLift	コード	1:有、2:無	○
20	エスカレーター	a_escalato	コード	1:有、2:無	○
21	エスカレーターの音声案内	a_eVGuide	コード	1:有、2:無	○
22	トイレ	t_toilet	コード	1:有、2:無	◎
23	車椅子使用者用トイレ	t_wheelcha	コード	1:有、2:無	◎
24	オストメイト用設備設置トイレ	t_ostomate	コード	1:有、2:無	◎
25	乳幼児用おむつ交換台設置トイレ	t_dTable	コード	1:有、2:無	◎
26	乳幼児用椅子設置トイレ	t_bChair	コード	1:有、2:無	○
27	大型ベッド設置トイレ	t_largeBed	コード	1:有、2:無	◎
28	視覚障害者誘導用ブロック	v_bBlocks	コード	1:有、2:無	◎
29	案内所	v_infoDesk	コード	1:有(手話対応可)、2:有(手話対応不可)、3:無	◎
30	案内板(視覚障害者対応)	v_iBoard	コード	1:有、2:無	○
31	字幕	v_captions	コード	1:有、2:無	○
32	駐車場	p_parking	コード	1:有、2:無	○
33	車椅子使用者用駐車施設	p_pWheelch	コード	1:有、2:無	◎
34	優先駐車区画	p_pParking	コード	1:有、2:無	◎
35	ベビー休憩室	b_bLounge	コード	1:有、2:無	◎
36	おむつ交換台	b_dTable	コード	1:有、2:無	◎
37	飲食可否	fAllowed	コード	1:有、2:無	○
38	駐輪場	p_bParking	コード	1:有、2:無	○
39	車椅子使用者対応出入口	e_wAEntran	コード	1:有、2:無	◎
40	指定緊急避難場所	d_dEShelte	コード	1:指定なし、2:指定あり	○
41	指定避難所	d_dShelter	コード	1:指定なし、2:指定あり	○

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
42	福祉避難所	d_wShelter	コード	1:指定なし、2:指定あり	○
43	帰宅困難者 一時滞在施設	d_tSFacili	コード	1:指定なし、2:指定あり	○
44	地区名	d_areaName	文字列	施設の所在地区名	○
45	風水害対応	d_sFDSuppo	コード	1:可、2:否	○
46	場所情報コード	uPlace	文字列（半角 英数字）	場所情報コード	○
47	URL	url	文字列	施設に関するホームページの URL	○
48	備考	note	文字列	特記事項等	○
49	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日（YYYY-MM-DD）	●
50	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日（YYYY-MM-DD）	●
51	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日（YYYY-MM-DD）	●

(2) 施設データの属性情報の取得方法

(1) 全国地方公共団体コード

施設の場所を確認の上、該当する全国地方公共団体コードを6桁で記載する。

(2) 施設ID

施設を識別するためのIDであり、重複の無いID番号とする。

(3) 名称

施設の名前を記載する。

例：国土交通省 中央合同庁舎第3号館

(4) 名称_カナ

施設の名前を全角カナで記載する。

例：コクドコウツウショウ チュウオウゴウドウチョウシャダイ3ゴウカン

(5) 名称_英語

施設の名前を英語（半角）で記載する。

例：Central Gov't Bldg. No.3

(6) 所在地

施設の所在地（都道府県から建物名等までを連結した表記）を記載する。

例）東京都千代田区霞が関2-1-3

(7) 緯度

施設の概ねの中心位置の緯度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。

例：35.675531

(8) 経度

施設の概ねの中心位置の経度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。

例：139.751270

(9) 階数

建物において施設が位置する階数について、建物で設定しているフロアの階数を記載する。地下階の場合はマイナス「-」、中間階の場合は小数で表現し、複数階にまたがる場合はセミコロン「;」で区切ってすべて記載する。階数設定のない屋上の場合は「999」を記載する。

例：

- 地下1階～2階の場合：-1;1;2

- 中2階の場合：1.5

(10) 電話番号

施設の管理者の連絡先（電話番号）を記載する。電話番号は、半角数字で記述し、セパレータには半角ハイフン「-」を利用する。

例：090-0000-0000、0120-000-000

(11) 施設種別

施設の種別を選択し、コードで記載する。

- (12) 車椅子貸出
施設における車椅子の貸出有無を確認し、コードで記載する。
- (13) ツエ貸出
施設におけるツエ貸出の有無を確認し、コードで記載する。
- (14) ベビーカー貸出
施設におけるベビーカー貸出の有無を確認し、コードで記載する。
- (15) 手すり
施設内の主要な経路上における手すりの有無を確認し、コードで記載する。
- (16) エレベーター
施設におけるエレベーターの有無を確認し、コードで記載する。
- (17) 車椅子使用者対応エレベーター
施設における車椅子使用者対応エレベーターの有無を確認し、コードで記載する。
- (18) 視覚障害者対応エレベーター
施設における視覚障害者対応エレベーターの有無を確認し、コードで記載する。
- (19) 段差解消機
施設における段差解消機の有無を確認し、コードで記載する。
- (20) エスカレーター
施設におけるエスカレーターの有無を確認し、コードで記載する。
- (21) エスカレーターの音声案内
施設においてエスカレーターの存在や昇降方向を伝える音声案内が設置されているエスカレーターの有無を確認し、コードで記載する。
- (22) トイレ
施設におけるトイレの有無を確認し、コードで記載する。
- (23) 車椅子使用者用トイレ
施設内の車椅子使用者用トイレの有無を確認し、コードで記載する。
- (24) オストメイト用設備設置トイレ
施設内のオストメイト用設備設置トイレの有無を確認し、コードで記載する。
- (25) 乳幼児用おむつ交換台設置トイレ
施設内の乳幼児用おむつ交換台設置トイレの有無を確認し、コードで記載する。
- (26) 乳幼児用椅子設置トイレ
施設内の乳幼児用椅子設置トイレの有無を確認し、コードで記載する。
- (27) 大型ベッド設置トイレ
施設内の大型ベッド設置トイレの有無を確認し、コードで記載する。
- (28) 視覚障害者誘導用ブロック
施設における視覚障害者誘導用ブロックの有無を確認し、コードで記載する。
- (29) 案内所
施設内の有人案内所の有無、及び手話対応の可否を確認し、コードで記載する。
- (30) 案内板（視覚障害者対応）
施設の構造等を示す視覚障害者向けの案内板（触知案内板もしくは音声案内板）の有無を確認し、コードで記載する。

(31) 字幕

聴覚障害者等の利用に配慮した字幕案内の有無を確認し、コードで記載する。

(32) 駐車場

施設における駐車場の有無を確認し、コードで記載する。

(33) 車椅子利用者用駐車施設

施設における車椅子利用者用駐車施設の有無を確認し、コードで記載する。

(34) 優先駐車区画

施設における優先駐車区画の有無を確認し、コードで記載する。

(35) ベビー休憩室

施設におけるベビー休憩室の有無を確認し、コードで記載する。

(36) おむつ交換台

施設におけるおむつ交換台の有無を確認し、コードで記載する。

(37) 飲食可否

施設内で飲食が可能なスペースの有無を確認し、コードで記載する。

(38) 駐輪場

施設における駐輪場の有無を確認し、コードで記載する。

(39) 車椅子利用者対応出入口

車椅子使用者の通行に対応した施設の出入口の有無を確認し、コードで記載する。
車椅子使用者が通行可能な幅員、スロープ等が確保されているか否か外形的判断により確認する。

(40) 指定緊急避難場所

施設が指定緊急避難場所に指定されているかを確認し、コードで記載する。

(41) 指定避難所

施設が指定避難所に指定されているかを確認し、コードで記載する。

(42) 福祉避難所

施設が福祉避難所に指定されているかを確認し、コードで記載する。

(43) 帰宅困難者一時滞在施設

施設が帰宅困難者一時滞在施設に指定されているかを確認し、コードで記載する。

(44) 地区名

施設が避難場所・避難所に指定されている場合、施設の所在地区名を記載する。

(45) 風水害対応

施設が避難場所・避難所に指定されている場合、避難場所・避難所が風水害の際に利用可能な施設として指定されているかを確認し、コードで記載する。

(46) 場所情報コード

施設の場所情報コードを記載する。

(47) URL

施設のホームページのURLを記載する。

(48) 備考

施設に関する特記事項等がある場合は記載する。

例：聴覚障害者用情報受信装置の設置あり

(49) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(50) データの変更年月日

データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(51) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

1) 車椅子使用者対応エレベーター／視覚障害者対応エレベーター

車椅子使用者及び視覚障害者に対応しているエレベーターであるか、以下に示す判定の目安を参考に確認し、該当するコードを記載する。

表3. 3. 2 車椅子使用者、視覚障害者対応エレベーターの判定の目安

種別	判定の目安
車椅子使用者対応	籠内の車椅子使用者用操作盤の有無
視覚障害者対応	籠内の操作盤の視覚障害者用点字銘板の有無



図3. 3. 1 車椅子使用者及び視覚障害者に対応した操作盤の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」をもとに作成)

2) 段差解消機

階段において、段差解消機が設置されているか確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。なお、段差解消機は、以下の①～③をすべて満たすものを、判定の目安とする。

- ①車椅子に座ったまま使用するエレベーター
- ②昇降行程が4m以下、または階段及び傾斜路に沿って昇降する装置
- ③籠の幅：70cm以上、籠の奥行き：120cm以上、籠の面積：2.25㎡以下の装置

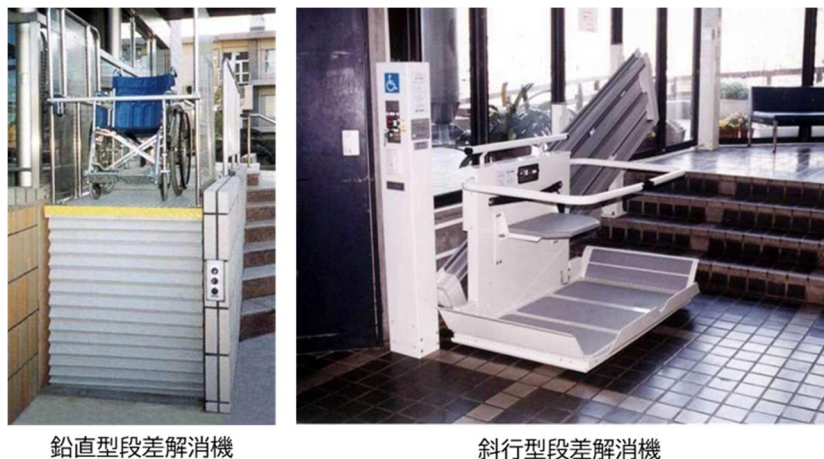


図 3. 3. 2 段差解消機の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

3) エスカレーターの音声案内

視覚障害者のエスカレーターの利用を考慮し、進入可能なエスカレーター（時間帯によって上下方向が変更されるエスカレーターや自動運転エスカレーターを含む）において、音声により、行き先及び上下方向を案内する装置が取り付けられているかを確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

音声案内例：「南口改札方面下りエスカレーターです。」

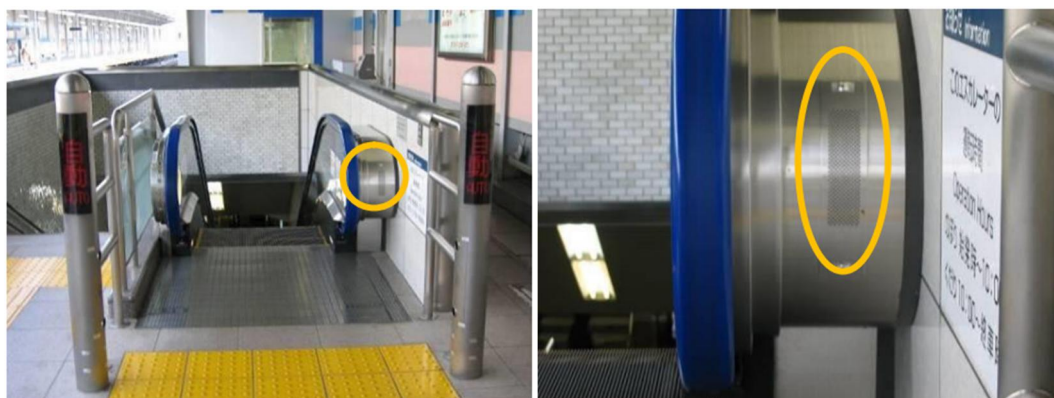


図 3. 3. 3 エスカレーター内蔵スピーカーの例

(出典：国土交通省「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編」)

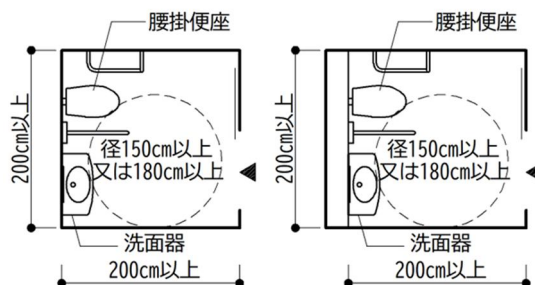
4) 車椅子使用者用トイレ

車椅子使用者用トイレが設置されているか、以下に示す判定の目安等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

表3. 3. 3 車椅子使用者用トイレ 判定の目安

判定の目安	
便房内のスペース	有効奥行き・幅200cm以上
	直径150cm以上の円が内接可
出入口	有効幅80cm以上

○車椅子使用者用便房



○車椅子使用者用便房 (大型ベッド付)

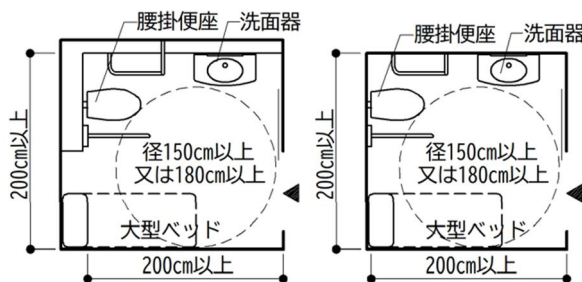


図 3. 3. 4 車椅子使用者用トイレ

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

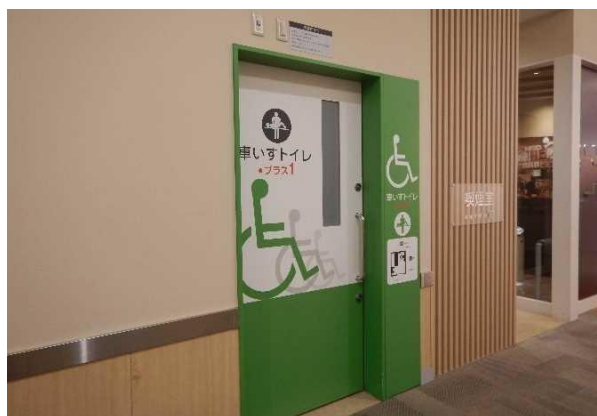


図 3. 3. 5 車椅子使用者用トイレを示す表示例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

5) オストメイト用設備設置トイレ

オストメイト用設備が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



オストメイト用設備/
オストメイト
Facilities for
Ostomy or
Ostomate

図 3. 3. 6 オストメイト用設備設置トイレのピクトグラム例
(日本産業規格 JIS Z 8210)

○オストメイト用設備を有する便房

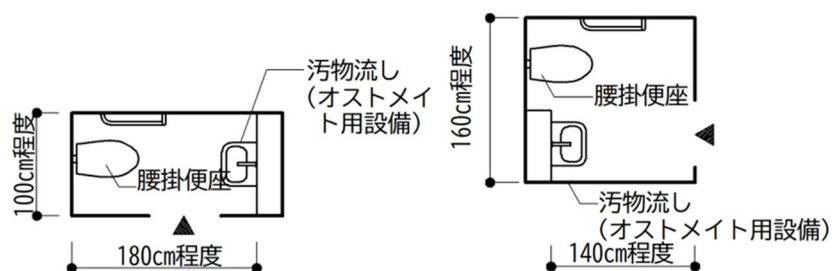


図 3. 3. 7 オストメイト用設備設置トイレの例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)



図 3. 3. 8 オストメイト用設備の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

6) 乳幼児用おむつ交換台設置トイレ

乳幼児用おむつ交換台（対象：生後1ヶ月から2歳半程度）が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



おむつ交換台
Diaper changing
table

図 3. 3. 9 乳幼児用おむつ交換台のピクトグラム例（日本産業規格 JIS Z 8210）

○乳幼児用設備を有する便房
(ベビーカーと共に入ることができる寸法)

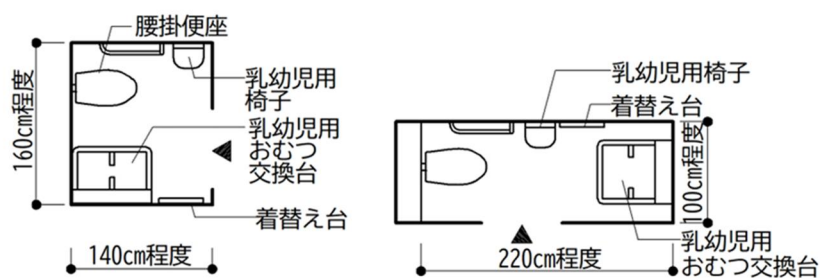


図 3. 3. 10 乳幼児用設備を有するトイレの例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

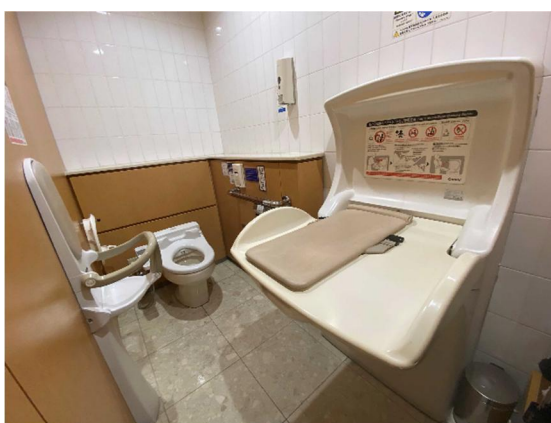


図 3. 3. 11 乳幼児用おむつ交換台の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

7) 乳幼児用椅子設置トイレ

乳幼児用椅子（対象：生後5ヶ月から2歳半程度）が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



ベビーチェア
Baby chair

図 3. 3. 12 乳幼児用椅子のピクトグラム例（日本産業規格 JIS Z 8210）



図 3. 3. 13 乳幼児用椅子の設置例

（出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」）

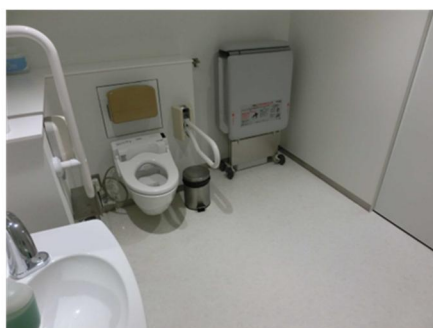
8) 大型ベッド設置トイレ

介助による着替えやおむつ交換、排せつ等を行う際に使用する大型ベッドが設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



介助用ベッド
Care bed

図 3. 3. 14 大型ベッドのピクトグラム例（日本産業規格 JIS Z 8210）



短辺方向に折りたたむ大型ベッド(折り畳み時)



短辺方向に折りたたむ大型ベッド(使用時)



長辺方向に折りたたむ大型ベッド(使用時)

図 3. 3. 15 大型ベッドの設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

9) 案内所

施設内において、案内所の有無を確認する。加えて、案内所における手話対応の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*手話に対応した案内所には、下図のような「手話マーク」が設置されている場合がある。



図 3. 3. 16 手話マーク

(出典：一般財団法人全日本ろうあ連盟ホームページ)

10) 案内板（視覚障害者対応）

点字、文字の浮き彫り、音による案内、その他これらに類する方法により視覚障害者を誘導するための案内板の有無を確認し、いずれかが対応している場合は「1：有」を選択し、コードを記載する。



図 3. 3. 17 点字等による案内板

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

11) 車椅子使用者用駐車施設／優先駐車区画

車椅子使用者用駐車施設は、車椅子使用者が円滑に利用できるよう設置された、幅3.5m以上が確保された駐車施設である。

優先駐車区画は、必ずしも広い幅員を必要としないものの移動に配慮が必要な者（高齢者、障害者、妊産婦等）に向け、車椅子使用者用駐車施設とは別に設置された駐車区画である。

駐車区画内の案内表示等をもとに、車椅子使用者用駐車施設及び優先駐車区画の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

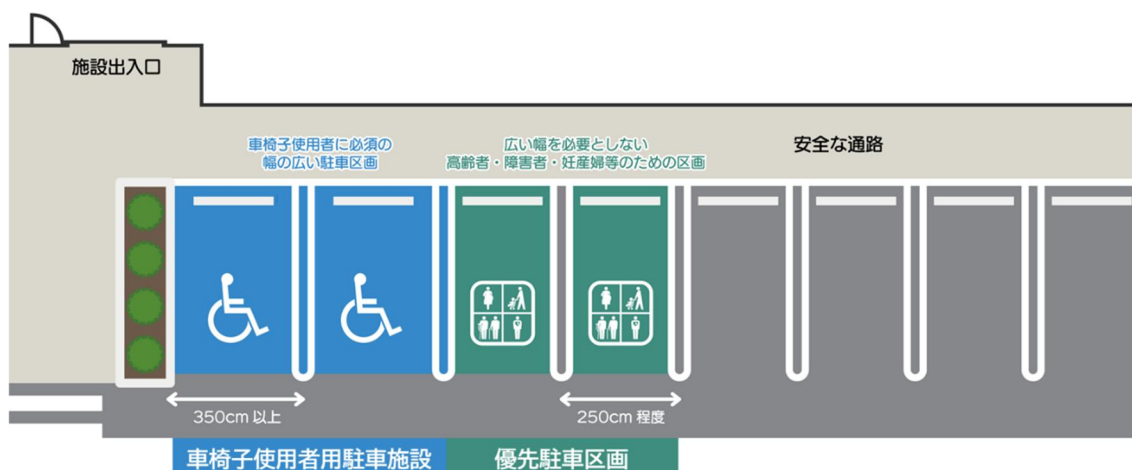


図 3. 3. 18 車椅子使用者用駐車施設、優先駐車区画の例

(出典：国土交通省「パーキング・パーミット制度事例集」をもとに作成)



図 3. 3. 19 車椅子使用者用駐車施設、優先駐車区画の案内表示例

(出典：国土交通省「パーキング・パーミット制度事例集」)

12) ベビー休憩室／おむつ交換台

ベビー休憩室は、乳幼児連れ利用者が利用する施設において、授乳・搾乳やおむつ交換に対応したスペースである。

乳幼児連れ利用者向けにベビー休憩室、おむつ交換台が設置されているか、有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図 3. 3. 20 授乳室等のピクトグラム例 (日本産業規格 JIS Z 8210)

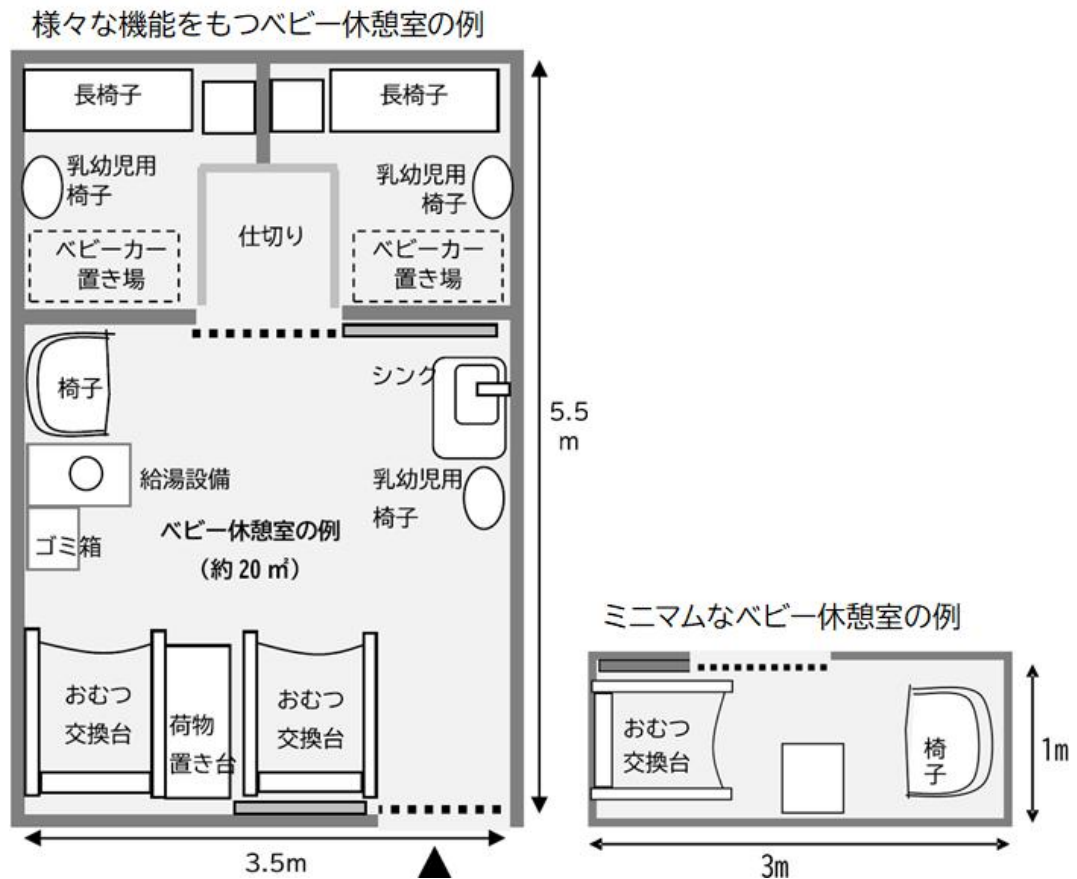


図 3. 3. 21 ベビー休憩室の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」をもとに作成)



図 3. 3. 22 ベビー休憩室の出入口と案内表示例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)



図 3. 3. 23 おむつ交換台の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

3. 3. 2 施設属性の整備仕様

(1) 施設属性の情報項目と属性情報

施設属性に対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

表3. 3. 4 施設属性に関する情報項目と属性情報

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	施設 ID	facilId	文字列（半角英数字）	施設属性を紐付ける施設の施設 ID	●
2	トイレの有料無料の別	t_isPaid	コード	1：有料、2：無料	○
3	男女共用車椅子使用者用トイレ数	t_uWCount	数値	男女共用の車椅子使用者用トイレの便器数	○
4	男性トイレ（車椅子使用者用トイレ）	tm_wheelch	コード	1：有、2：無	◎
5	男性トイレ（広めのトイレ）	tm_spaciou	コード	1：有、2：無	◎
6	男性トイレ（オストメイト用設備）	tm_ostomat	コード	1：有、2：無	◎
7	男性トイレ（乳幼児用おむつ交換台）	tm_dTable	コード	1：有、2：無	◎
8	男性トイレ（乳幼児用椅子）	tm_bChair	コード	1：有、2：無	○
9	男性トイレ（幼児用補助便座）	tm_auxSeat	コード	1：有、2：無	○
10	男性トイレ（着替え台）	tm_cBoard	コード	1：有、2：無	○
11	女性トイレ（車椅子使用者用トイレ）	tf_wheelch	コード	1：有、2：無	◎
12	女性トイレ（広めのトイレ）	tf_spaciou	コード	1：有、2：無	◎
13	女性トイレ（オストメイト用設備）	tf_ostomat	コード	1：有、2：無	◎
14	女性トイレ（乳幼児用おむつ交換台）	tf_dTable	コード	1：有、2：無	◎
15	女性トイレ（乳幼児用椅子）	tf_bChair	コード	1：有、2：無	○
16	女性トイレ（幼児用補助便座）	tf_auxSeat	コード	1：有、2：無	○
17	女性トイレ（着替え台）	tf_cBoard	コード	1：有、2：無	○

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
18	男女共用トイレ (車椅子使用者用 トイレ)	tu_wheelch	コード	1:有、2:無	◎
19	男女共用トイレ (広めのトイレ)	tu_spaciou	コード	1:有、2:無	◎
20	男女共用トイレ (オストメイト用 設備)	tu_ostomat	コード	1:有、2:無	◎
21	男女共用トイレ (大型ベッド)	tu_lBed	コード	1:有、2:無	◎
22	男女共用トイレ (乳幼児用 おむつ交換台)	tu_dTable	コード	1:有、2:無	◎
23	男女共用トイレ (乳幼児用椅子)	tu_bChair	コード	1:有、2:無	○
24	男女共用トイレ (幼児用補助便座)	tu_auxSeat	コード	1:有、2:無	○
25	男女共用トイレ (着替え台)	tu_cBoard	コード	1:有、2:無	○
26	キッズトイレ	t_kids	コード	1:有、2:無	○
27	トイレの光警報装置	t_fLight	コード	1:有、2:無	◎
28	音声による案内 (トイレ外)	t_vGuide	コード	1:有、2:無	◎
29	トイレの案内図	t_map	コード	1:有(点字等あり)、2:有(点字等なし)、 3:無	○
30	エレベーター台数	e_count	数値	エレベーターの台数	○
31	バリアフリー対応 エレベーター台数	e_bFree	数値	バリアフリーに対応したエレベーターの台数	○
32	車椅子使用者用 駐車施設の呼称	p_wLabel	文字列	車椅子使用者用駐車施設に該当する駐車区画の呼称	○
33	優先駐車区画の呼称	p_pLabel	文字列	優先駐車区画に該当する駐車区画の呼称	○
34	駐車場の 有料無料の別	p_isPaid	コード	1:有料、2:無料	○
35	駐車場の 障害者割引	p_discount	コード	1:有、2:無 (No. 34 が「1:有料」の場合に記載)	○
36	駐車場の 障害者割引の条件	p_dCond	文字列	障害者割引が適用される条件 (No. 35 が「1:有」の場合に記載)	○
37	駐車場の スタッフ対応	p_sSupport	コード	1:有(手話対応可)、2:有(手話対応不可)、 3:無	○
38	カームダウン・ クールダウンルーム	o_cDCDRoom	コード	1:有、2:無	◎
39	その他の施設属性	o_oFacilit	文字列	その他の施設の有無等	○
40	備考	note	文字列	特記事項等	○
41	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日 (YYYY-MM-DD)	●

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
42	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日 (YYYY-MM-DD)	●
43	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日 (YYYY-MM-DD)	●

(2) 施設属性の属性情報の取得方法

(1) 施設ID

施設属性を紐付ける施設の施設IDを記載する。

(2) トイレの有料無料の別

トイレの利用が有料か無料かを確認し、区分をコードで記載する。有料設備と無料設備が混在する場合は2：無料を選択して記載した上で、「備考」に説明を記載する。

(3) 男女共用車椅子使用者用トイレ数

男女共用の車椅子使用者用トイレの総数を確認し、数字で記載する。

(4) 男性トイレ（車椅子使用者用トイレ）

男性トイレの中で、車椅子使用者用トイレの有無を確認し、コードで記載する。

(5) 男性トイレ（広めのトイレ）

男性トイレの中で、広めのトイレの有無を確認し、コードで記載する。

(6) 男性トイレ（オストメイト用設備）

男性トイレの中で、オストメイト用設備の有無を確認し、コードで記載する。

(7) 男性トイレ（乳幼児用おむつ交換台）

男性トイレの中で、乳幼児用おむつ交換台の有無を確認し、コードで記載する。

(8) 男性トイレ（乳幼児用椅子）

男性トイレの中で、乳幼児用椅子の有無を確認し、コードで記載する。

(9) 男性トイレ（幼児用補助便座）

男性トイレの中で、幼児用補助便座の有無を確認し、コードで記載する。

(10) 男性トイレ（着替え台）

男性トイレの中で、着替え台の有無を確認し、コードで記載する。

(11) 女性トイレ（車椅子使用者用トイレ）

女性トイレの中で、車椅子使用者用トイレの有無を確認し、コードで記載する。

(12) 女性トイレ（広めのトイレ）

女性トイレの中で、広めのトイレの有無を確認し、コードで記載する。

(13) 女性トイレ（オストメイト用設備）

女性トイレの中で、オストメイト用設備の有無を確認し、コードで記載する。

(14) 女性トイレ（乳幼児用おむつ交換台）

女性トイレの中で、乳幼児用おむつ交換台の有無を確認し、コードで記載する。

(15) 女性トイレ（乳幼児用椅子）

女性トイレの中で、乳幼児用椅子の有無を確認し、コードで記載する。

(16) 女性トイレ（幼児用補助便座）

女性トイレの中で、幼児用補助便座の有無を確認し、コードで記載する。

(17) 女性トイレ（着替え台）

女性トイレの中で、着替え台の有無を確認し、コードで記載する。

(18) 男女共用トイレ（車椅子使用者用トイレ）

男女共用トイレの中で、車椅子使用者用トイレの有無を確認し、コードで記載する。

(19) 男女共用トイレ（広めのトイレ）

男女共用トイレの中で、広めのトイレの有無を確認し、コードで記載する。

(20) 男女共用トイレ（オストメイト用設備）

男女共用トイレの中で、オストメイト用設備の有無を確認し、コードで記載する。

(21) 男女共用トイレ（大型ベッド）

男女共用トイレの中で、大型ベッドの有無を確認し、コードで記載する。

(22) 男女共用トイレ（乳幼児用おむつ交換台）

男女共用トイレの中で、乳幼児用おむつ交換台の有無を確認し、コードで記載する。

(23) 男女共用トイレ（乳幼児用椅子）

男女共用トイレの中で、乳幼児用椅子の有無を確認し、コードで記載する。

(24) 男女共用トイレ（幼児用補助便座）

男女共用トイレの中で、幼児用補助便座の有無を確認し、コードで記載する。

(25) 男女共用トイレ（着替え台）

男女共用トイレの中で、着替え台の有無を確認し、コードで記載する。

(26) キッズトイレ

キッズトイレの有無を確認し、コードで記載する。

(27) トイレの光警報装置

トイレ内で聴覚障害者等に非常警報を知らせる光警報装置の有無を確認し、コードで記載する。

(28) 音声による案内（トイレ外）

トイレの外部における音声案内の有無を確認し、コードで記載する。

(29) トイレの案内図

トイレの出入口等に設置されている、トイレ内の便房の位置等を示す案内図及び点字等表示の有無を確認し、コードで記載する。

(30) エレベーター台数

バリアフリーに対応したエレベーターを含め、エレベーターの台数を確認し、数字で記載する。

(31) バリアフリー対応エレベーター台数

バリアフリーに対応したエレベーターの台数を確認し、数字で記載する。

(32) 車椅子利用者用駐車施設の呼称

車椅子利用者用駐車施設において、自治体や施設等で独自に呼称を設定している場合、その呼称を記載する。

(33) 優先駐車区画の呼称

優先駐車区画において、自治体や施設等で独自に呼称を設定している場合、その呼称を記載する。

(34) 駐車場の有料無料の別

駐車場の利用が有料か無料かを確認し、区分をコードで記載する。有料設備と無料設備が混在する場合は2：無料を選択して記載した上で、「備考」に説明を記載する。

(35) 駐車場の障害者割引

駐車場が有料の場合、障害者割引の有無を確認し、コードで記載する。

(36) 駐車場の障害者割引の条件

駐車場の障害者割引がある場合、割引が適用される条件を確認し、記載する。

(37) 駐車場のスタッフ対応

駐車場の利用や乗降等に対して支援・介助を行うスタッフの有無、及び手話対応の可否を確認し、コードで記載する。

(38) カームダウン・クールダウンルーム

カームダウン・クールダウンルームの有無を確認し、コードで記載する。

(39) その他の施設属性

上記情報項目のほか、記載したい施設属性がある場合、文字列で記載する。

(40) 備考

施設属性に関する特記事項等がある場合は記載する。

(41) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(42) データの変更年月日

データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(43) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

- 1) 車椅子使用者用トイレ／オストメイト用設備／大型ベッド／乳幼児用おむつ交換台／乳幼児用椅子

トイレの入口等に表示されているピクトグラム等を参考に、各設備の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

なお、本仕様の情報項目の名称と対応するピクトグラム（日本産業規格 JIS Z 8210）の対応例は、表3.3.5に示す通りである。

*各設備の配置例や設置例の詳細は、3.3.1 施設データの解説を参照。

表3.3.5 ピクトグラム（日本産業規格 JIS Z 8210）の対応例

情報項目の名称	ピクトグラム（日本産業規格 JIS Z 8210）の名称
車椅子使用者用トイレ	障害のある人が使える設備
オストメイト用設備	オストメイト用設備／オストメイト
大型ベッド	介助用ベッド
乳幼児用おむつ交換台	おむつ交換台
乳幼児用椅子	ベビーチェア



図3.3.24 バリアフリー対応の設備を示すピクトグラム例
（日本産業規格 JIS Z 8210）

2) 広めのトイレ

コンパクトな手動車椅子を使用する車椅子使用者が利用可能な、出入口の有効幅員と最小限の広さを有するトイレである。以下に示す判断の目安等を参考に、広めのトイレの有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

表3. 3. 6 広めのトイレ 判断の目安

便房の出入口		判断の目安
正面もしくは側面の場合	便房内のスペース	有効奥行き200cm以上 有効幅130cm以上
	出入口	有効幅80cm以上
側面の場合	便房内のスペース	有効奥行き180cm以上 有効幅150cm以上
	出入口	有効幅80cm以上

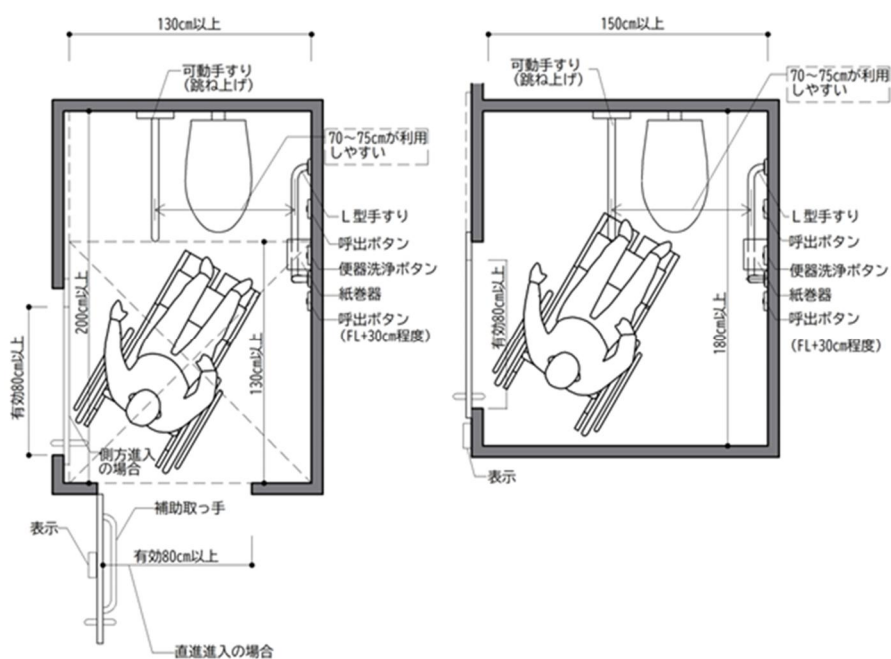


図3. 3. 25 広めのトイレ

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

3) 幼児用補助便座

子どもが大人用の便座に座れるよう設置されている、幼児用補助便座の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図 3. 3. 26 幼児用補助便座の設置例

(出典：東京都武蔵野市ホームページ)

4) 着替え台

幼児のおむつ交換やオストメイトの着替え等を目的に設置されている。床に近い壁付近に畳んで収納されており、チェンジングボードやフィッティングボード等と呼ばれる場合もある。

着替え台の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



着替え台
Changing board

図3. 3. 27 着替え台のピクトグラム例（日本産業規格 JIS Z 8210）



図3. 3. 28 着替え台の設置例

（出典：東京都交通局ホームページ）

5) キッズトイレ

子どもが使用できるよう配慮された、手すり・小さなサイズの便器等が設置されているトイレや専用区画の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



こどもお手洗
Children's
toilet

図3. 3. 29 キッズトイレのピクトグラム例（日本産業規格 JIS Z 8210）



図3. 3. 30 キッズトイレの設置例

（出典：神戸市ホームページ）

6) トイレの光警報装置

トイレ内で聴覚障害者に非常警報が分かるよう設置された、光警報装置の設置の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

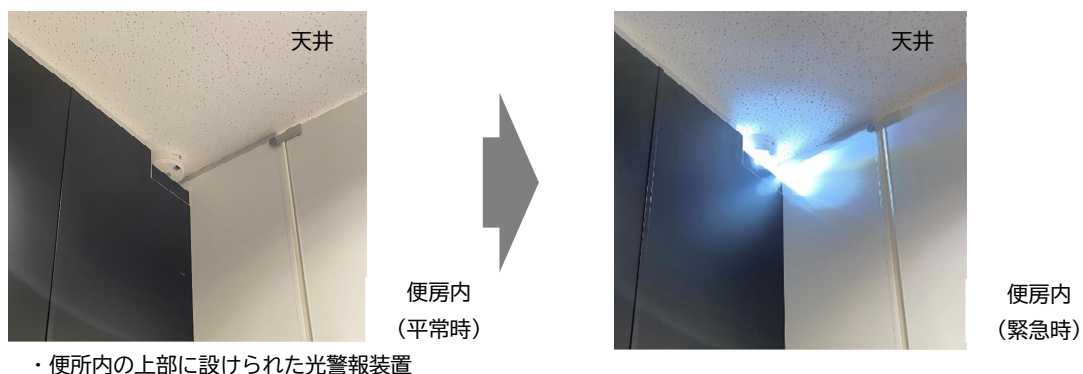


図 3. 3. 31 光警報装置の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

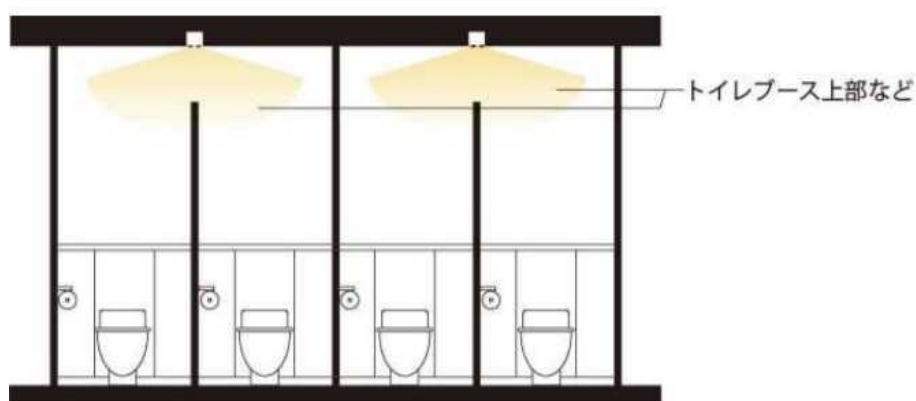


図 3. 3. 32 光警報装置の設置イメージ

(出典：国土交通省「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編」)

7) 音声による案内（トイレ外）

トイレの出入口付近において、視覚障害者の利用に配慮して設置された、設置位置と男女別が分かる音声案内の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。
*音声案内例：「向かって右が男子トイレ、左が女子トイレです。」



図3. 3. 33 トイレでの音声案内の例（人感知式）

(出典：国土交通省「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編」)

8) トイレの案内図

トイレの出入口に設置された、男女の別、男女共用、トイレ内部の配置等をわかりやすく表示した案内図の有無を確認する。加えて、視覚障害者の利用に配慮した点字等による表示（触知案内図を含む）の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図3. 3. 34 視覚障害者の利用に配慮したトイレの案内図の例

(出典：国土交通省「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編」)

9) バリアフリー対応エレベーター

車椅子使用者や視覚障害者、聴覚障害者向けの設備が設置されていれば、台数を確認し記載する。聴覚障害者向けの設備としては、扉へのガラス窓の設置や、籠内における聴覚障害者向けの非常用呼び出しボタンの設置がある。

*車椅子使用者及び視覚障害者に対応した籠内の設備は、3.3.1 施設データの解説を参照。

*聴覚障害者に対応した設備（ガラス窓、非常用呼び出しボタン）は、3.4.2 バリアフリー対応エレベーターデータの解説を参照。

10) 車椅子使用者用駐車施設の呼称／優先駐車区画の呼称

車椅子使用者用駐車施設に対し、施設や地域固有の呼称がある場合は、情報項目(32)「車椅子使用者用駐車施設の呼称」に、呼称を記載する。

また、優先駐車区画に対し、施設や地域固有の呼称がある場合は、情報項目(33)「優先駐車区画の呼称」に、呼称を記載する。

*呼称例：ゆずりあい駐車場、おもいやり駐車場



図3. 3. 35 車椅子使用者用駐車施設の設置例

(出典：国土交通省「パーキング・パーミット制度事例集」)



図3. 3. 36 優先駐車区画の設置例

(出典：三重県ホームページ)

11) カームダウン・クールダウンルーム

発達障害者や知的障害者、精神障害者等が、パニックが生じた際に外部の音等を遮り気持ちを落ち着かせるために使用する。

ピクトグラム等を参考に確認し、「カームダウン・クールダウンルーム」もしくは「カームダウン・クールダウンスペース」に該当する場合は、属性情報(38)「カームダウン・クールダウンルーム」にて、「1:有」を選択する。



カームダウン・
クールダウン
Calm down,
cool down

図3. 3. 37 カームダウン・クールダウンのピクトグラム例
(日本産業規格 JIS Z 8210)



図3. 3. 38 カームダウン・クールダウンルームの設置例

(出典：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「カームダウン・クールダウンについて」)

3. 4 「バリアフリー設備」データの整備仕様

3. 4. 1 バリアフリースイレデータの整備仕様

(1) バリアフリースイレデータの情報項目と属性情報

バリアフリースイレデータに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3. 4. 1 バリアフリースイレデータの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列 (半角数字)	バリアフリースイレの ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列 (半角 英数字)	バリアフリースイレが設置されている施設の施設 ID	●
3	名称	name	文字列	バリアフリースイレの名称	●
4	名称_カナ	nameKana	文字列 (全角)	バリアフリースイレの名称 (カナ)	●
5	名称_英語	nameEn	文字列 (半角 英数字)	バリアフリースイレの名称 (英語)	●
6	設置位置	location	文字列	バリアフリースイレの設置位置	●
7	緯度	latitude	数値	バリアフリースイレの中心位置の緯度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
8	経度	longitude	数値	バリアフリースイレの中心位置の経度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
9	階数	floor	数値	バリアフリースイレが設置されているフロアの階数	●
10	性別による分け	t_tType	コード	1: 共用、2: 男性用、3: 女性用	●
11	視覚障害者誘導用 ブロック	t_bBlocks	コード	1: 有、2: 無	○
12	音声による案内 (トイレ内側)	t_vGuide	コード	1: 有、2: 無	○
13	戸の形式	t_doorType	コード	1: 自動ドア (押しボタン式)、2: 自動ドア (センサー式)、3: 自動ドア (その他)、4: 手動式引戸、5: 手動式開戸、6: その他のドア	○
14	出入口の幅員	t_eWidth	数値	出入口の幅員 (小数第一位を切り捨て、cm 単位)	○
15	車椅子の 転回スペース	t_tSpace	コード	1: 有 (直径 150cm 以上の円が内接するスペース)、2: 有 (直径 180cm 以上の円が内接するスペース)、3: 無	○
16	便座の背もたれ	t_backrest	コード	1: 有、2: 無	○
17	便座の手すり	t_handrail	コード	1: 有、2: 無	◎

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
18	便座の手すりの可動	t_mHandrai	コード	1: 可動、2: 固定	○
19	オストメイト用設備	t_ostomate	コード	1: 有、2: 無	◎
20	オストメイト用設備の温水対応	t_oWWater	コード	1: 有、2: 無	○
21	大型ベッド	t_largeBed	コード	1: 有、2: 無	◎
22	乳幼児用おむつ交換台	t_dTable	コード	1: 有、2: 無	◎
23	乳幼児用椅子	t_bChair	コード	1: 有、2: 無	○
24	幼児用補助便座	t_auxSeat	コード	1: 有、2: 無	○
25	着替え台	t_cBoard	コード	1: 有、2: 無	○
26	非常用呼び出しボタン	t_eButton	コード	1: 有、2: 無	◎
27	操作盤の点字による表示	t_bPanel	コード	1: 有、2: 無	○
28	操作盤の文字の浮き彫り	t_tGPanel	コード	1: 有、2: 無	○
29	鏡 (姿見)	t_mirror	コード	1: 有、2: 無	○
30	水栓金具	t_fType	コード	1:レバー式、2:センサー式、3:その他	○
31	手荷物置き台	t_lRack	コード	1: 有、2: 無	○
32	フック	t_hook	コード	1: 有、2: 無	○
33	ごみ箱	t_trashCan	コード	1: 有、2: 無	○
34	場所情報コード	uPlace	文字列 (半角英数字)	場所情報コード	○
35	備考	note	文字列	特記事項等	○
36	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日 (YYYY-MM-DD)	●
37	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日 (YYYY-MM-DD)	●
38	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日 (YYYY-MM-DD)	●

(2) バリアフリートイレデータの属性情報の取得方法

(1) バリアフリー設備ID

バリアフリートイレを識別するためのIDであり、重複の無いID番号とする。

(2) 施設ID

バリアフリートイレがある施設を示す「施設」データの施設IDを記載する。

(3) 名称

バリアフリートイレの名称を記載する。トイレがある施設の名称、トイレの性別による分け（共用トイレ／男性用トイレ／女性用トイレ）を順に繋げ、それぞれをアンダースコア（半角）「_」で結んだ形式での表記を推奨する。

例：〇〇駅_男性用トイレ

〇〇公園_共用トイレ

(4) 名称_カナ

バリアフリートイレの名称をカナで記載する。

例：〇〇エキ_ダンセイヨウトイレ

(5) 名称_英語

バリアフリートイレの名称を英語（半角）で記載する。

例：〇〇 Station_Men's toilet

(6) 設置位置

バリアフリートイレがあるトイレの設置位置について、フロアの階数や方角、目印等を記載する。加えて、トイレにおける、バリアフリートイレが設置されている個室の設置位置を記載する。

例：2階東側、奥から2番目の個室

(7) 緯度

バリアフリートイレの個室の概ねの中心位置の緯度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。バリアフリートイレの中心位置の取得が困難な場合は、バリアフリートイレがある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：35.675531

(8) 経度

バリアフリートイレの個室の概ねの中心位置の経度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。バリアフリートイレの中心位置の取得が困難な場合は、バリアフリートイレがある施設の概ねの中心位置の経度を取得する。

例：139.751270

(9) 階数

対象となるバリアフリートイレが設置されている階数について、建物で設定しているフロアの階数を記載する。地下階の場合はマイナス「-」、中間階の場合は小数で表現して記載する。階数設定のない屋外に設置されている場合は接続する屋内で設定しているフロアの階数、階数設定のない屋上に設置されている場合は「999」を記載する。

例：

- 地下1階： -1
- 中2階の場合： 1.5

(10) 性別による分け

対象となるバリアフリートイレの性別による分け（共用、男性用、女性用）を確認し、コードで記載する。

(11) 視覚障害者誘導用ブロック

バリアフリートイレが設置されているトイレ区画（共用、男性用、女性用）の出入口までの視覚障害者誘導用ブロックの有無を確認し、コードで記載する。

(12) 音声による案内（トイレ内側）

トイレ内において、便器や設備等の位置を音声により視覚障害者に案内する装置等の有無を確認し、コードで記載する。

(13) 戸の形式

バリアフリートイレの個室について、戸の形式を確認し、コードで記載する。

(14) 出入口の幅員

車椅子使用者に対応したトイレの個室について、出入口の最小の幅員を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(15) 車椅子の転回スペース

車椅子使用者に対応したトイレの個室について、車椅子が回転できるスペースの有無（直径150cm以上、または直径180cm以上の円が内接できるか）を確認し、コードで記載する。

(16) 便座の背もたれ

バリアフリートイレの便座の背もたれの有無を確認し、コードで記載する。

(17) 便座の手すり

バリアフリートイレの便座の手すりの有無を確認し、コードで記載する。

(18) 便座の手すりの可動

バリアフリートイレの便座に手すりが設置されている場合、手すりの可動／固定を確認し、コードで記載する。複数の手すり（便座の両側等）が設置されており、可動と固定の両方が設置されている場合は、「1：可動」を選択する。

(19) オストメイト用設備

バリアフリートイレのオストメイト用設備の有無を確認し、コードで記載する。

(20) オストメイト用設備の温水対応

オストメイト用設備を有するトイレについて、オストメイト用設備の温水対応の有無を確認し、コードで記載する。

- (21) 大型ベッド
バリアフリースイレの大型ベッドの有無を確認し、コードで記載する。
- (22) 乳幼児用おむつ交換台
バリアフリースイレの乳幼児用おむつ交換台の有無を確認し、コードで記載する。
- (23) 乳幼児用椅子
バリアフリースイレの乳幼児用椅子の有無を確認し、コードで記載する。
- (24) 幼児用補助便座
バリアフリースイレの幼児用補助便座の有無を確認し、コードで記載する。
- (25) 着替え台
バリアフリースイレの着替え台の有無を確認し、コードで記載する。
- (26) 非常用呼び出しボタン
バリアフリースイレの非常用呼び出しボタンの有無を確認し、コードで記載する。
- (27) 操作盤の点字による表示
バリアフリースイレに設置されている便座の操作盤について、点字による表示の有無を確認し、コードで記載する。
- (28) 操作盤の文字の浮き彫り
バリアフリースイレに設置されている便座の操作盤について、文字の浮き彫りの有無を確認し、コードで記載する。
- (29) 鏡（姿見）
バリアフリースイレの個室の鏡（姿見）の有無を確認し、コードで記載する。
- (30) 水栓金具
バリアフリースイレの水栓金具の形式を確認し、コードで記載する。
- (31) 手荷物置き台
バリアフリースイレの手荷物置き台の有無を確認し、コードで記載する。
- (32) フック
バリアフリースイレのフックの有無を確認し、コードで記載する。
- (33) ごみ箱
バリアフリースイレのごみ箱の有無を確認し、コードで記載する。
- (34) 場所情報コード
バリアフリースイレの場所情報コードを記載する。
- (35) 備考
バリアフリースイレに関する特記事項等がある場合は記載する。
- (36) データの作成年月日
データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。
例：2020-01-15
- (37) データの変更年月日
データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。
例：2020-01-15

(38) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

1) 音声による案内（トイレ内側）

一般トイレを含むトイレの内側において、視覚障害者の利用に配慮し、便器や設備・ボタンの位置等を音声により案内する装置の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図 3. 4. 1 トイレ内側の音声案内装置の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

2) 車椅子の転回スペース

バリアフリートイレで車椅子使用者が 360° 回転できるよう、直径 150cm 以上もしくは 180cm 以上の円が内接できるスペースの有無を確認する。

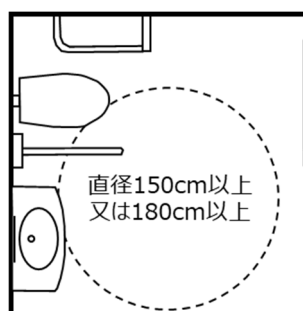


図 3. 4. 2 バリアフリートイレにおける車椅子の転回スペース

(国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」をもとに作成)

3) 便座の手すり

バリアフリースイールに設置されている便座の手すりの有無を確認の上、情報項目(17)「便座の手すり」にて属性情報を選択し、コードを記載する。

手すりが設置されている場合は、手すりが可動式と固定式のどちらかを確認し、情報項目(18)「便座の手すりの可動」にて属性情報を選択し、コードを記載する。なお、手すりが複数存在し、可動式と固定式の手すりがどちらも設置されている場合は、「1:可動」を選択する。



図 3. 4. 3 便座の手すりの設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

4) オストメイト用設備

オストメイト用設備が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、情報項目(19)「オストメイト用設備」にて属性情報を選択し、コードを記載する。

また、オストメイト用設備が温水対応しているかを確認し、情報項目(20)「オストメイト用設備の温水対応」にて属性情報を選択し、コードを記載する。

*オストメイト用設備の設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

5) 大型ベッド

介助による着替えやおむつ交換、排せつ等を行う際に使用する大型ベッドが設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*大型ベッドの設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

6) 乳幼児用おむつ交換台

乳幼児用おむつ交換台(対象：生後1ヶ月から2歳半程度)が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*乳幼児用おむつ交換台の設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

7) 乳幼児用椅子

乳幼児用椅子（対象：生後5ヶ月から2歳半程度）が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*乳幼児用椅子の設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

8) 幼児用補助便座

子どもが大人用の便座に座れるよう設置されている乳幼児用補助便座の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*幼児用補助便座の設置例は、3.3.2 施設属性の解説を参照。

9) 着替え台

着替え台が設置されているか、ピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*着替え台の設置例は、3.3.2 施設属性の解説を参照。

10) 操作盤の点字による表示／操作盤の文字の浮き彫り

トイレの便房に設置された操作盤において、視覚障害者の利用に配慮した点字による表示や文字の浮き彫りの有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図 3. 4. 4 便房における操作盤の点字による表示の例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」をもとに作成)

3. 4. 2 バリアフリー対応エレベーターデータの整備仕様

(1) バリアフリー対応エレベーターデータの情報項目と属性情報

バリアフリー対応エレベーターデータに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3. 4. 2 バリアフリー対応エレベーターデータの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列 (半角数字)	バリアフリー対応エレベーターの ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列 (半角 英数字)	バリアフリー対応エレベーターが設置されている 施設の施設 ID	●
3	名称	name	文字列	バリアフリー対応エレベーターの名称	●
4	名称_カナ	nameKana	文字列 (全角)	バリアフリー対応エレベーターの名称 (カナ)	●
5	名称_英語	nameEn	文字列 (半角 英数字)	バリアフリー対応エレベーターの名称 (英語)	●
6	設置位置	location	文字列	バリアフリー対応エレベーターの設置位置	●
7	緯度	latitude	数値	バリアフリー対応エレベーターの中心位置の緯度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
8	経度	longitude	数値	バリアフリー対応エレベーターの中心位置の経度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
9	停止階数	floor	文字列	当該施設におけるバリアフリー対応エレベーター の停止階数	●
10	出入口の幅員	es_dWidth	数値	出入口の幅員 (小数第一位を切り捨て、cm 単位)	○
11	籠の幅	es_cWidth	数値	バリアフリー対応エレベーターの籠の幅 (小数第 一位を切り捨て、cm 単位)	○
12	籠の奥行き	es_cDepth	数値	バリアフリー対応エレベーターの籠の奥行き (小 数第一位を切り捨て、cm 単位)	○
13	定員数	es_capacit	数値	バリアフリー対応エレベーターの定員数	○
14	最大積載荷重	es_maxLoad	数値	バリアフリー対応エレベーターの最大積載荷重 (kg 単位)	○
15	籠内の手すり	ec_handrai	コード	1：有、2：無	○
16	籠内の鏡	ec_mirror	コード	1：有、2：無	○
17	出入口扉のガラス窓	ec_gWDoor	コード	1：有、2：無	○
18	籠内の車椅子利用者 対応の操作盤	ec_wPanel	コード	1：有、2：無	◎

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
19	籠内の操作盤の点字による表示	ec_bPanel	コード	1:有、2:無	◎
20	籠内の操作盤の文字の浮き彫り	ec_tGPanel	コード	1:有、2:無	◎
21	籠内の音声による案内	ec_vGuide	コード	1:有、2:無	◎
22	籠内の字幕表示等による案内	ec_cGuide	コード	1:有、2:無	◎
23	籠内の非常用呼び出しボタン	ec_eBType	コード	1:有(聴覚障害者用あり)、2:有(聴覚障害者用なし)、3:無	○
24	乗降ロビーの車椅子使用者対応乗り場ボタン	el_wButton	コード	1:有、2:無	◎
25	乗降ロビーの乗り場ボタンの点字による表示	el_bPanel	コード	1:有、2:無	◎
26	乗降ロビーの乗り場ボタンの文字の浮き彫り	el_tGPanel	コード	1:有、2:無	◎
27	乗降ロビーの視覚障害者誘導用ブロック	el_bBlocks	コード	1:有、2:無	○
28	乗降ロビーの音声による案内	el_vGuide	コード	1:有、2:無	◎
29	乗降ロビーの屋根、庇	el_roof	コード	1:有、2:無	○
30	乗降ロビーの出入口扉の案内表示	el_dSign	コード	1:有、2:無	○
31	場所情報コード	uPlace	文字列(半角英数字)	場所情報コード	○
32	備考	note	文字列	特記事項等	○
33	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日(YYYY-MM-DD)	●
34	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日(YYYY-MM-DD)	●
35	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日(YYYY-MM-DD)	●

(2) バリアフリー対応エレベーターデータの属性情報の取得方法

(1) バリアフリー設備ID

バリアフリー対応エレベーターを識別するためのIDであり、重複の無いID番号とする。

(2) 施設ID

バリアフリー対応エレベーターがある施設を示す「施設」データの施設 ID を記載する。

(3) 名称

バリアフリー対応エレベーターの名称を記載する。エレベーターがある施設の名称、エレベーターの名称を順に繋げ、それぞれをアンダースコア（半角）「_」で結んだ形式での表記を推奨する。

例：〇〇市役所_北側エレベーター

〇〇駅_A1出口エレベーター

(4) 名称_カナ

バリアフリー対応エレベーターの名称をカナで記載する。

例：〇〇シヤクショ_キタガワエレベーター

(5) 名称_英語

バリアフリー対応エレベーターの名称を英語（半角）で記載する。

例：〇〇 City hall_North Elevator

(6) 設置位置

エレベーターの乗降ロビーにおける、バリアフリー対応エレベーターの設置位置を記載する。

例：向かって1番左のエレベーター

(7) 緯度

バリアフリー対応エレベーターの概ねの中心位置の緯度を取得し、10 進法表記で記載する。小数点以下 6 桁での記載を推奨する。バリアフリー対応エレベーターの中心位置の取得が困難な場合は、バリアフリー対応エレベーターがある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：35.675531

(8) 経度

バリアフリー対応エレベーターの概ねの中心位置の経度を取得し、10 進法表記で記載する。小数点以下 6 桁での記載を推奨する。バリアフリー対応エレベーターの中心位置の取得が困難な場合は、バリアフリー対応エレベーターがある施設の概ねの中心位置の経度を取得する。

例：139.751270

(9) 停止階数

バリアフリー対応エレベーターの停止階のうち、対象とする施設に停止する階数を、セミコロン「;」で区切ってすべて記載する。地下階の場合はマイナス「-」、中間階の場合は小数で表現して記載する。階数設定のない屋上の場合は「999」を記載する。

例：

- 10階ある建物のうち、対象施設が2～3階にある場合： 2;3

(10) 出入口の幅員

バリアフリー対応エレベーターの出入口の最小の幅員を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(11) 籠の幅

バリアフリー対応エレベーターの籠の幅を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(12) 籠の奥行き

バリアフリー対応エレベーターの籠の奥行きを計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(13) 定員数

バリアフリー対応エレベーターの定員数を確認し、数値で記載する。

(14) 最大積載荷重

バリアフリー対応エレベーターの最大積載荷重を確認し、キログラム単位で記載する。

(15) 籠内の手すり

バリアフリー対応エレベーターの籠内の手すりの有無を確認し、コードで記載する。

(16) 籠内の鏡

バリアフリー対応エレベーターの籠内の鏡の有無を確認し、コードで記載する。

(17) 出入口扉のガラス窓

バリアフリー対応エレベーターの扉に設置されているガラス窓の有無を確認し、コードで記載する。

(18) 籠内の車椅子使用者対応の操作盤

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、車椅子使用者に対応した操作盤の有無を確認し、コードで記載する。

(19) 籠内の操作盤の点字による表示

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、操作盤の点字による表示の有無を確認し、コードで記載する。

(20) 籠内の操作盤の文字の浮き彫り

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、操作盤の文字の浮き彫りの有無を確認し、コードで記載する。

(21) 籠内の音声による案内

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、籠の到着する階や戸の閉鎖等を伝える音声案内の有無を確認し、コードで記載する。

(22) 籠内の字幕表示等による案内

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、籠の昇降方向や停止階等を知らせる字幕表示の有無を確認し、コードで記載する。

(23) 籠内の非常用呼び出しボタン

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、非常用呼び出しボタンの有無について、聴覚障害者対応のボタンの有無を含めて確認し、コードで記載する。

(24) 乗降ロビーの車椅子利用者対応乗り場ボタン

乗降ロビーに設置されている乗り場ボタンについて、車椅子利用者対応の有無を確認し、コードで記載する。

(25) 乗降ロビーの乗り場ボタンの点字による表示

乗降ロビーに設置されている乗り場ボタンについて、点字による表示の有無を確認し、コードで記載する。

(26) 乗降ロビーの乗り場ボタンの文字の浮き彫り

乗降ロビーに設置されている乗り場ボタンについて、文字の浮き彫りの有無を確認し、コードで記載する。

(27) 乗降ロビーの視覚障害者誘導用ブロック

乗降ロビーの周辺や乗り場ボタンの手前等に視覚障害者誘導用ブロックが敷設されているか確認し、有無をコードで記載する。

(28) 乗降ロビーの音声による案内

視覚障害者の利用に配慮し、乗降ロビーに到着するエレベーターの昇降方向を音声により知らせる装置の有無を確認し、コードで記載する。

(29) 乗降ロビーの屋根、庇

乗降ロビーの屋根や庇の有無を確認し、コードで記載する。

(30) 乗降ロビーの出入口扉の案内表示

車椅子利用者やベビーカー利用者等が優先して利用できることを示す、出入口扉の案内表示の有無を確認し、コードで記載する。

(31) 場所情報コード

バリアフリー対応エレベーターの場所情報コードを記載する。

(32) 備考

バリアフリー対応エレベーターに関する特記事項等がある場合は記載する。

(33) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(34) データの変更年月日

データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(35) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

1) 出入口扉のガラス窓

聴覚障害者等の利用に配慮し、緊急時において籠内外の連絡等が可能になるよう、出入口のガラス窓の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

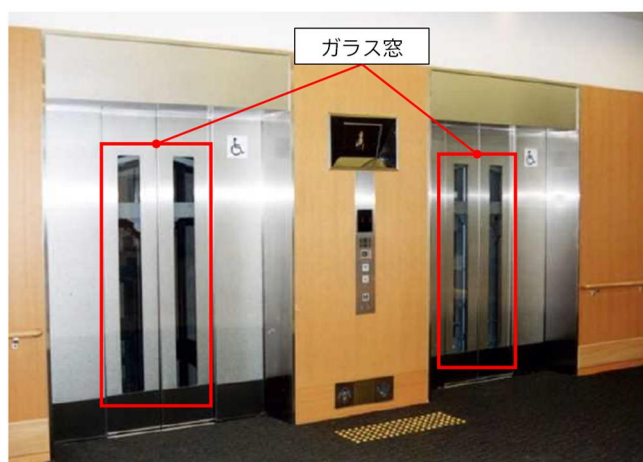


図 3. 4. 5 ガラス窓の設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」をもとに作成)

2) 籠内の車椅子利用者対応の操作盤

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、車椅子利用者に対応した操作盤の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*操作盤の設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

3) 籠内の操作盤の点字による表示／籠内の操作盤の文字の浮き彫り

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、視覚障害者の利用に配慮した点字による表示、文字の浮き彫り等の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*操作盤の設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。



図 3. 4. 6 エレベーター（籠内）の操作盤における文字の浮き彫り例

（出典：国土交通省「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編」）

4) 籠内の音声による案内

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、視覚障害者の利用に配慮し、籠の到着する階や戸の閉鎖等を音声で伝える装置の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*音声案内例：「1番線ホーム改札階へ参ります。」

「1階地上出口です。こちらのドアが開きます。」

5) 籠内の字幕表示等による案内

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、聴覚障害者等の利用に配慮し、籠の昇降方向（籠が停止する予定の階、籠の現在位置）や緊急時の情報提供等を字幕表示等で伝える装置の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図 3. 4. 7 エレベーター（籠内）の字幕表示例

（出典：国土交通省「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編」）

6) 籠内の非常用呼び出しボタン

バリアフリー対応エレベーターの籠内において、緊急時に外部と連絡を取ることが可能なボタンの有無を確認する。加えて、聴覚障害者等の利用に配慮し、緊急連絡を必要としている者が聴覚障害者であることが判別できるボタンの有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図 3. 4. 8 非常用呼び出しボタンの設置例

（出典：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団ホームページ

(<https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/guideline/bfgl/facilities/page-018.php>) をもとに作成)

7) 乗降ロビーの車椅子利用者対応乗り場ボタン／乗降ロビーの乗り場ボタンの点字による表示／乗降ロビーの乗り場ボタンの文字の浮き彫り

情報項目 (24) 「乗降ロビーの車椅子利用者対応乗り場ボタン」は、乗降ロビーの車椅子利用者が利用しやすい位置に乗り場ボタン（制御装置）が設けられているか確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

情報項目 (25) 「乗降ロビーの乗り場ボタンの点字による表示」／(26) 「乗降ロビーの乗り場ボタンの文字の浮き彫り」は、視覚障害者の利用に配慮した乗り場ボタンの点字による表示、文字の浮き彫り等の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*ボタンの点字による表示／文字の浮き彫り例は、図3. 4. 6を参照。

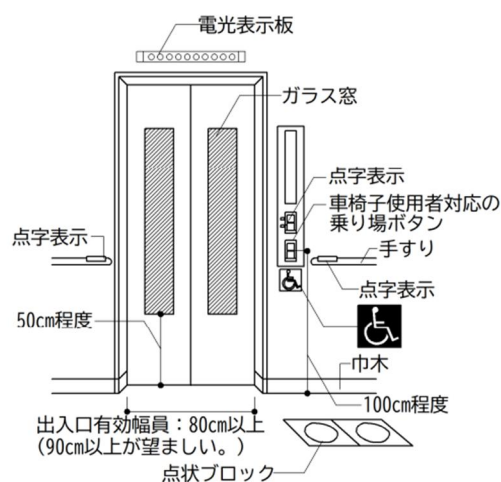


図3. 4. 9 エレベーターの乗降ロビーの例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

8) 乗降ロビーの出入口扉の案内表示

エレベーターの出入口扉周辺において、車椅子使用者やベビーカー使用者等が優先して使用できることを示した案内表示の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図3. 4. 10 出入口扉における優先案内の表示例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

3. 4. 3 車椅子使用者用駐車施設等データの整備仕様

(1) 車椅子使用者用駐車施設等データの情報項目と属性情報

車椅子使用者用駐車施設等データに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3. 4. 3 車椅子使用者用駐車施設等データの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列 (半角数字)	車椅子使用者用駐車施設等の ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列 (半角 英数字)	車椅子使用者用駐車施設等が設置されている施設の施設 ID	●
3	名称	name	文字列	車椅子使用者用駐車施設等の名称	●
4	名称_カナ	nameKana	文字列 (全角)	車椅子使用者用駐車施設等の名称 (カナ)	●
5	名称_英語	nameEn	文字列 (半角 英数字)	車椅子使用者用駐車施設等の名称 (英語)	●
6	設置位置	location	文字列	車椅子使用者用駐車施設等の詳細な設置位置	●
7	緯度	latitude	数値	車椅子使用者用駐車施設等の中心位置の緯度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
8	経度	longitude	数値	車椅子使用者用駐車施設等の中心位置の経度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
9	階数	floor	数値	車椅子使用者用駐車施設等が設置されているフロアの階数	●
10	車椅子使用者用 駐車施設数	ps_wheelch	数値	車椅子使用者用駐車施設の数	○
11	優先駐車区画数	ps_priorit	数値	優先駐車区画の数	○
12	パーキング・ パーミット制度	p_pSystem	コード	1：有、2：無	○
13	側部乗降用スペース	pe_sSpace	コード	1：有、2：無	○
14	側部乗降用スペース の幅	pe_sSWidth	数値	車椅子使用者用駐車施設等の側部乗降用スペースの幅 (小数第一位を切り捨て、cm 単位)	○
15	後部乗降用スペース	pe_rSpace	コード	1：有、2：無	○
16	後部乗降用スペース の幅	pe_rSWidth	数値	車椅子使用者用駐車施設等の後部乗降用スペースの幅 (小数第一位を切り捨て、cm 単位)	○
17	屋根・庇	pe_roof	コード	1：有、2：無	○
18	高さ制限	pe_hL023m	コード	1：2.3m 以上、2：2.3m 未満	○

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
19	場所情報コード	uPlace	文字列（半角英数字）	場所情報コード	○
20	備考	note	文字列	特記事項等	○
21	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日（YYYY-MM-DD）	●
22	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日（YYYY-MM-DD）	●
23	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日（YYYY-MM-DD）	●

(2) 車椅子利用者用駐車施設等データの属性情報の取得方法

(1) バリアフリー設備ID

車椅子使用車用駐車施設等を識別するためのIDであり、重複の無いID番号とする。

(2) 施設ID

車椅子使用車用駐車施設等がある施設を示す「施設」データの施設IDを記載する。

(3) 名称

車椅子利用者用駐車施設等の名称を記載する。車椅子利用者用駐車施設等がある施設の名称、駐車場の名称を順に繋げ、それぞれをアンダースコア（半角）「_」で結んだ形式での表記を推奨する。

例：〇〇ショッピングセンター_第2駐車場

〇〇市役所_地下駐車場

(4) 名称_カナ

車椅子利用者用駐車施設等の名称をカナで記載する。

例：〇〇ショッピングセンター_ダイ2チュウシャジョウ

(5) 名称_英語

車椅子利用者用駐車施設等の名称を英語（半角）で記載する。

例：〇〇 Shopping center_No.2 parking

(6) 設置位置

車椅子利用者用駐車施設等がある駐車場の設置位置について、フロアの階数や方角、目印等を記載する。加えて、駐車場における車椅子利用者用駐車施設等の設置位置を記載する。

例：1階東側、中央入口横

(7) 緯度

車椅子利用者用駐車施設等がある区画の概ねの中心位置の緯度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。車椅子利用者用駐車施設等の中心位置の取得が困難な場合は、車椅子利用者用駐車施設等がある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：35.675531

(8) 経度

車椅子利用者用駐車施設等の区画がある概ねの中心位置の経度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。車椅子利用者用駐車施設等の中心位置の取得が困難な場合は、車椅子利用者用駐車施設等がある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：139.751270

(9) 階数

対象となる車椅子使用者用駐車施設等が設置されている階数について、建物で設定しているフロアの階数を記載する。地下階の場合はマイナス「-」、中間階の場合は小数で表現して記載する。階数設定のない屋外の場合は接続する屋内で設定しているフロアの階数、階数設定のない屋上の場合は「999」を記載する。

例：

- 地下1階： -1
- 中2階の場合： 1.5
- 平置き駐車場の場合： 1

(10) 車椅子使用者用駐車施設数

車椅子使用者用駐車施設の数を確認し、施設数を記載する。

(11) 優先駐車区画数

優先駐車区画の数を確認し、区画数を記載する。

(12) パーキング・パーミット制度

パーキング・パーミット制度の導入の有無を確認し、コードで記載する。

(13) 側部乗降用スペース

車椅子使用者用駐車施設等の側部に設けられた、乗降用スペースの有無を確認し、コードで記載する。

(14) 側部乗降用スペースの幅

車椅子使用者用駐車施設等の側部に乗降用スペースが設置されている場合、乗降用スペースの幅を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(15) 後部乗降用スペース

車椅子使用者用駐車施設等の後部の乗降用スペースの有無を確認し、コードで記載する。

(16) 後部乗降用スペースの幅

車椅子使用者用駐車施設等の後部に乗降用スペースが設置されている場合、乗降用スペースの幅を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(17) 屋根、庇

車椅子使用者用駐車施設等の屋根や庇の有無を確認し、コードで記載する。

(18) 高さ制限

車椅子使用者用駐車施設等の高さ制限（屋根や梁、駐車場出入口等の高さのうち最小の値）を確認し、コードで記載する。車椅子使用者用駐車施設等が屋外や屋根のない場所に設置されている場合は、「1：2.3m以上」を選択する。

(19) 場所情報コード

車椅子使用者用駐車施設等の場所情報コードを記載する。

(20) 備考

車椅子使用者用駐車施設等に関する特記事項等がある場合は記載する。

(21) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(22) データの変成年月日

データの変成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(23) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

1) 車椅子利用者用駐車施設数

車椅子利用者が円滑に利用できるよう設置された、幅3.5m以上が確保された駐車施設の施設数を確認し、記載する。

*車椅子利用者用駐車施設の例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

2) 優先駐車区画数

必ずしも広い幅員を必要としないものの移動に配慮が必要な者（高齢者、障害者、妊産婦等）に向け、車椅子利用者用駐車施設とは別に、設置された駐車区画の区画数を確認し、記載する。

*優先駐車区画の例は、3.3.1 施設データの解説を参照。

3) パーキング・パーミット制度

公共施設や商業施設をはじめとする、様々な施設に設置されている車椅子利用者用駐車施設等の利用対象者を、障害者、高齢者、妊産婦等、歩行が困難と認められる人に限定し、対象者に利用証を交付することで適正利用を図る制度である。

パーキング・パーミット制度の導入を示す標識や看板等の有無を確認の上、該当する項目を選択する。

なお、パーキング・パーミット制度が未導入の地域においても、駐車区画の利用に同制度による利用証が必要な場合は、同制度が導入された駐車場として項目を選択する。



図3. 4. 11 パーキング・パーミット制度導入の優先駐車区画を示す三角コーン

(出典：国土交通省「パーキング・パーミット制度事例集」)



図3. 4. 12 パーキング・パーミット制度利用証の例

(出典：国土交通省「パーキング・パーミット制度事例集」)



図3. 4. 13 パーキング・パーミット制度未導入地域における対応例

(出典：国土交通省「パーキング・パーミット制度事例集」)

4) 側部乗降用スペース／後部乗降用スペース

車椅子使用者の乗降を考慮し、車椅子使用者用駐車施設の側部に乗降用スペースがあるか確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

また、車椅子用リフト付き福祉車両（バンタイプ）では、後部ドアによる乗降が行われることを考慮し、車椅子使用者用駐車施設の後部に乗降用スペースがあるか確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

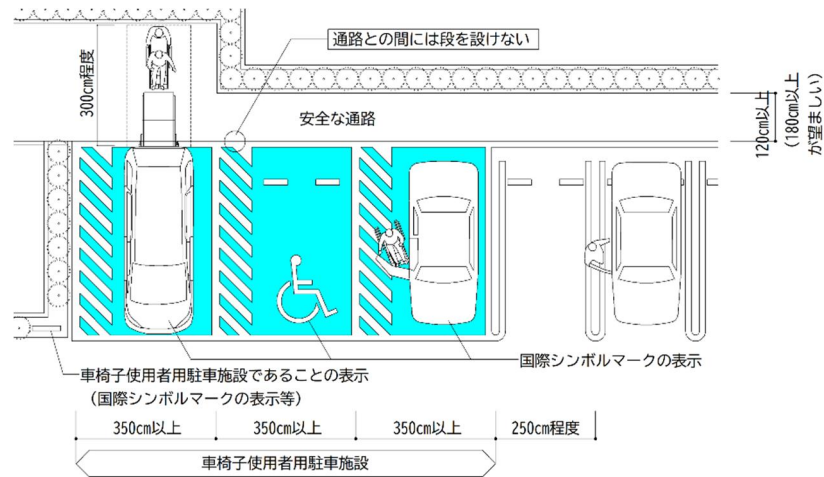


図3. 4. 14 車椅子使用者用駐車施設の乗降スペースの配置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

5) 高さ制限

大型の車椅子用リフト付き福祉車両等の車両高さ（230cm程度）を考慮し、車椅子使用者用駐車施設等の屋根や梁下までの有効高さ、または車椅子使用者用駐車施設等にかけての入口からの動線における屋根や梁下までの有効高さについて、いずれか低い部分の有効高さを確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

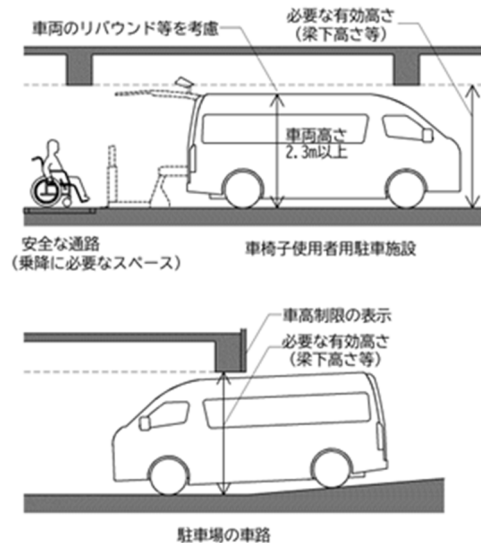


図3. 4. 15 車椅子使用者用駐車施設等（屋内）における有効高さのイメージ

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

3. 4. 4 乳幼児用施設データの整備仕様

(1) 乳幼児用施設データの情報項目と属性情報

乳幼児用施設データに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3. 4. 4 乳幼児用施設データの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列 (半角数字)	乳幼児用施設の ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列 (半角 英数字)	乳幼児用施設が設置されている施設の施設 ID	●
3	名称	name	文字列	乳幼児用施設の名称	●
4	名称_カナ	nameKana	文字列 (全角)	乳幼児用施設の名称 (カナ)	●
5	名称_英語	nameEn	文字列 (半角 英数字)	乳幼児用施設の名称 (英語)	●
6	設置位置	location	文字列	乳幼児用施設の施設内における詳細な設置位置	●
7	緯度	latitude	数値	乳幼児用施設の中心位置の緯度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
8	経度	longitude	数値	乳幼児用施設の中心位置の経度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
9	階数	floor	数値	乳幼児用施設が設置されているフロアの階数	●
10	授乳・搾乳のための スペース	b_nSpace	コード	1：有、2：無	◎
11	おむつ交換台	b_dTable	コード	1：有、2：無	◎
12	授乳・搾乳のための スペースの数	b_nSCount	数値	授乳・搾乳のためのスペースの数	○
13	おむつ交換台数	b_dTCount	数値	おむつ交換台の数	○
14	男性の立ち入り	b_mEntry	コード	1：可、2：否	○
15	湯沸かし器	b_wHeater	コード	1：有、2：無	○
16	シンク	b_sink	コード	1：有、2：無	○
17	おむつ用ごみ箱	b_dTCan	コード	1：有、2：無	○
18	場所情報コード	uPlace	文字列 (半角 英数字)	場所情報コード	○

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
19	備考	note	文字列	特記事項等	○
20	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日 (YYYY-MM-DD)	●
21	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日 (YYYY-MM-DD)	●
22	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日 (YYYY-MM-DD)	●

(2) 乳幼児用施設データの属性情報の取得方法

(1) バリアフリー設備ID

乳幼児用施設を識別するためのIDであり、重複の無いID番号とする。

(2) 施設ID

乳幼児用施設がある施設を示す「施設」データの施設IDを記載する。

(3) 名称

乳幼児用施設の名称を記載する。乳幼児用施設がある施設の名称、乳幼児用施設の名称を順に繋げ、それぞれをアンダースコア（半角）「_」で結んだ形式での表記を推奨する。

例：〇〇ショッピングセンター_ベビー休憩室

〇〇市役所_授乳室

(4) 名称_カナ

乳幼児用施設の名称をカナで記載する。

例：〇〇ショッピングセンター_ベビーキュウケイシツ

(5) 名称_英語

乳幼児用施設の名称を英語（半角）で記載する。

例：〇〇 Shopping center_Nursing room

(6) 設置位置

乳幼児用施設が設置されているフロアの階数や方角、目印等を記載する。

例：2階北側、トイレ横

(7) 緯度

乳幼児用施設のある区画の概ねの中心位置の緯度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。乳幼児用施設の中心位置の取得が困難な場合は、乳幼児用施設がある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：35.675531

(8) 経度

乳幼児用施設のある区画の概ねの中心位置の緯度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。乳幼児用施設の中心位置の取得が困難な場合は、乳幼児用施設がある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：139.751270

(9) 階数

対象となる乳幼児用施設が設置されている階数について、建物で設定しているフロアの階数を記載する。地下階の場合はマイナス「-」、中間階の場合は小数で表現して記載する。階数設定のない屋外に設置されている場合は接続する屋内で設定しているフロアの階数、階数設定のない屋上に設置されている場合は「999」を記載する。

例：

- 地下1階： -1

- 中2階の場合： 1.5

(10) 授乳・搾乳のためのスペース

乳幼児用施設における授乳・搾乳のためのスペースの有無を確認し、コードで記載する。

(11) おむつ交換台

乳幼児用施設におけるおむつ交換台の有無を確認し、コードで記載する。

(12) 授乳・搾乳のためのスペースの数

乳幼児用施設における授乳・搾乳のためのスペースの数を確認し、数値で記載する。

(13) おむつ交換台数

乳幼児用施設におけるおむつ交換台の数を確認し、数値で記載する。

(14) 男性の立ち入り

乳幼児用施設における男性の立ち入りの可否を確認し、コードで記載する。

(15) 湯沸かし器

乳幼児用施設における調乳用のお湯に対応した設備の有無を確認し、コードで記載する。

(16) シンク

乳幼児用施設におけるシンクや洗面台の有無を確認し、コードで記載する。

(17) おむつ用ごみ箱

乳幼児用施設におけるおむつ用ごみ箱の有無を確認し、コードで記載する。

(18) 場所情報コード

乳幼児用施設の場所情報コードを記載する。

(19) 備考

乳幼児用施設に関する特記事項等がある場合は記載する。

(20) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(21) データの変更年月日

データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(22) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

1) 授乳・搾乳のためのスペース／おむつ交換台

乳幼児連れ利用者向けに授乳・搾乳のためのスペース、おむつ交換台が設置されているか、有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*おむつ交換台の設置例は、3.3.1 施設データの解説を参照。



図3. 4. 16 授乳・搾乳のためのスペースの設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

2) 男性の立ち入り

乳幼児用施設の男性の立ち入り可否について、乳幼児用施設の入口等に示されたピクトグラム等を参考に確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



授乳室(女性用)

Baby feeding room
(for women)



授乳室(男女共用)

Baby feeding room
(for men and women)

図3. 4. 17 授乳室(女性用／男女共用)のピクトグラム例

(日本産業規格 JIS Z 8210)

3. 4. 5 出入口データの整備仕様

(1) 出入口データの情報項目と属性情報

出入口データに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3. 4. 5 出入口データの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列 (半角数字)	出入口の ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列 (半角 英数字)	出入口が設置されている施設の施設 ID	●
3	名称	name	文字列	出入口の名称	●
4	名称_カナ	nameKana	文字列 (全角)	出入口の名称 (カナ)	●
5	名称_英語	nameEn	文字列 (半角 英数字)	出入口の名称 (英語)	●
6	設置位置	location	文字列	出入口の施設内における詳細な設置位置	●
7	緯度	latitude	数値	出入口の中心位置の緯度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
8	経度	longitude	数値	出入口の中心位置の経度 (10 進法表記、小数点以下 6 桁での記載を推奨)	●
9	階数	floor	数値	出入口が設置されているフロアの階数	●
10	幅員	e_width	数値	出入口の幅員 (小数第一位を切り捨て、cm 単位)	○
11	段差	e_step	コード	1: 有、2: 無	◎
12	視覚障害者誘導用 ブロック	ee_bBlocks	コード	1: 有、2: 無	○
13	視覚障害者誘導用 ブロック (案内所まで)	ee_bBIDesk	コード	1: 有、2: 無	○
14	視覚障害者誘導用 ブロック (案内板まで)	ee_bBIBoar	コード	1: 有、2: 無	○
15	戸の形式	ee_dType	コード	1: なし、2: 自動式引戸 (センサー式)、3: 自動式引戸 (押しボタン式)、4: 自動式開戸 (押しボタン式)、5: 手動式引戸、6: 手動式開戸、7: 回転ドア、8: その他のドア	○
16	屋根、庇	ee_roof	コード	1: 有、2: 無	○
17	音声等による誘導	ee_vGuide	コード	1: 有、2: 無	○
18	段差解消機	ee_wLift	コード	1: 有、2: 無	○

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
19	固定スロープ	es_fSlope	コード	1:有、2:無	◎
20	車椅子用可搬型スロープ	es_mSlope	コード	1:有、2:無	○
21	固定スロープの手すり	es_fSHandr	コード	1:有、2:無	○
22	固定スロープの幅員	es_fSWidth	数値	固定スロープの幅員（小数第一位を切り捨て、cm単位）	○
23	固定スロープの最大傾斜角	es_fSMAngl	数値	固定スロープの最大傾斜角（小数第二位を切り上げ、%単位）	○
24	案内所	ei_iDesk	コード	1:有、2:無	○
25	点字による案内板	ei_bIBoard	コード	1:有、2:無	○
26	音声による案内板	ei_vIBoard	コード	1:有、2:無	◎
27	インターホン	ei_iType	コード	1:有（カメラ付き）、2:有（カメラ無し）、3:無	○
28	場所情報コード	uPlace	文字列（半角英数字）	場所情報コード	○
29	備考	note	文字列	特記事項等	○
30	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日（YYYY-MM-DD）	●
31	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日（YYYY-MM-DD）	●
32	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日（YYYY-MM-DD）	●

(2) 出入口データの属性情報の取得方法

(1) バリアフリー設備ID

出入口を識別するためのIDであり、重複の無いID番号とする。

(2) 施設ID

出入口がある施設を示す「施設」データの施設IDを記載する。

(3) 名称

出入口の名称を記載する。出入口がある施設の名称、出入口の名称を順に繋げ、それぞれをアンダースコア（半角）「_」で結んだ形式での表記を推奨する。

例：〇〇駅_西口

〇〇ショッピングセンター_A駅口

(4) 名称_カナ

出入口の名称をカナで記載する。

例：〇〇エキ_ニシグチ

(5) 名称_英語

出入口の名称を英語（半角）で記載する。

例：〇〇 Station_West exit

(6) 設置位置

出入口が設置されているフロアの階数や方角、目印等を記載する。

例：1階西側、〇〇方面

(7) 緯度

出入口のある区画の概ねの中心位置の緯度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。出入口の中心位置の取得が困難な場合は、出入口がある施設の概ねの中心位置の緯度を取得する。

例：35.675531

(8) 経度

出入口のある区画の概ねの中心位置の経度を取得し、10進法表記で記載する。小数点以下6桁での記載を推奨する。出入口の中心位置の取得が困難な場合は、出入口がある施設の概ねの中心位置の経度を取得する。

例：139.751270

(9) 階数

対象となる出入口が設置されている階数について、建物で設定しているフロアの階数を記載する。地下階の場合はマイナス「-」、中間階の場合は小数で表現して記載する。階数設定のない屋上の場合は「999」を記載する。

例：

- 地下1階： -1

- 中2階の場合： 1.5

(10) 幅員

出入口の最小の幅員を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(11) 段差

出入口の段差が概ね2cm以下であるかを確認し、段差の有無をコードで記載する。

(12) 視覚障害者誘導用ブロック

出入口の視覚障害者誘導用ブロックの有無を確認し、コードで記載する。

(13) 視覚障害者誘導用ブロック（案内所まで）

出入口から案内所までの経路について、視覚障害者誘導用ブロックの有無を確認し、コードで記載する。

(14) 視覚障害者誘導用ブロック（案内板まで）

出入口から視覚障害者向けの案内板（触知案内板もしくは音声案内板）までの経路について、視覚障害者誘導用ブロックの有無を確認し、コードで記載する。

(15) 戸の形式

出入口の戸の形式を確認し、コードで記載する。

(16) 屋根、庇

出入口（屋外部）の屋根や庇の有無を確認し、コードで記載する。

(17) 音声等による誘導

出入口の音声等による誘導を行う設備の有無を確認し、コードで記載する。

(18) 段差解消機

出入口の段差解消機の有無を確認し、コードで記載する。

(19) 固定スロープ

出入口（屋外部を含む）における固定スロープの有無を確認し、コードで記載する。

(20) 車椅子用可搬型スロープ

出入口の可搬型スロープの対応有無を確認し、コードで記載する。

(21) 固定スロープの手すり

出入口に固定スロープがある場合、固定スロープの手すりの有無を確認し、コードで記載する。

(22) 固定スロープの幅員

出入口に固定スロープがある場合、固定スロープの最小の幅員を計測し、小数第一位を切り捨ててセンチメートル単位で記載する。

(23) 固定スロープの最大傾斜角

出入口に固定スロープがある場合、固定スロープの最大の傾斜角を計測し、小数第二位を切り上げてパーセント単位で記載する。

(24) 案内所

出入口付近の案内所の有無を確認し、コードで記載する。

(25) 点字による案内板

出入口付近における、施設の構造等を示す視覚障害者向けの触知案内板等の有無を確認し、コードで記載する。

(26) 音声による案内板

出入口付近における、施設の構造等を示す視覚障害者向けの音声案内板等の有無を確認し、コードで記載する。

(27) インターホン

出入口の従業員等呼び出すインターホンの有無、及びインターホンのカメラの設置の有無を確認し、コードで記載する。

(28) 場所情報コード

出入口の場所情報コードを記載する。

(29) 備考

出入口に関する特記事項等がある場合は記載する。

(30) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(31) データの変更年月日

データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(32) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【解説】

1) 段差解消機

出入口に設置されている段差解消機の有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

*段差解消機の設置例及び判定の目安は、3.3.1 施設データの解説を参照。

2) 固定スロープ

出入口の階段や段差等の解消を目的に設置されている、固定スロープの有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。

3) 車椅子用可搬型スロープ

出入口の段差等の解消を目的に設置されている、可搬型のスロープの対応有無を確認の上、属性情報を選択し、コードを記載する。



図3. 4. 18 車椅子用可搬型スロープの設置例

(出典：国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」)

3.5 「写真」データの整備仕様

3.5.1 写真データ管理用ファイルの整備仕様

管理用ファイルに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3.5.1 写真データ管理用ファイルの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	ID	imageId	文字列（半角英数字）	管理用 ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列（半角英数字）	写真データを紐付ける施設の施設 ID（「施設」データが対象の場合に記載）	●
3	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列（半角英数字）	写真データを紐付けるバリアフリー設備のバリアフリー設備 ID（「バリアフリー設備」データが対象の場合に記載）	●
4	パス名	imagePath	文字列	写真データのパス名	◎
5	URL	imageUrl	文字列	写真データが格納されている参照先 URL	◎
6	ライセンス	license	文字列	写真データのライセンス 例：CC BY 4.0	○
7	備考	note	文字列	写真に関する特記事項等	○
8	撮影年月日	photoDate	文字列	写真が撮影された日付（YYYY-MM-DD）	○
9	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日（YYYY-MM-DD）	●
10	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日（YYYY-MM-DD）	●
11	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日（YYYY-MM-DD）	●

【解説】

写真データは、施設やそれに付属するバリアフリー設備の状況を記録するために撮影する写真を示す。

管理用ファイルは、撮影写真をバリアフリー施設等データと関連付けて撮影箇所を記録し、バリアフリー施設等データとあわせて写真を使いたい場合に、作成することを想定する。多数の写真を取得した場合、それらの管理は煩雑になるため、管理用ファイルを作成し、写真データとあわせて管理する。

1) ID

写真データを識別するための管理 ID であり、重複の無い ID 番号とする。

2) パス名

写真データを格納している場所（フォルダの階層）をファイル名も含めて記載する。

(例) .¥100¥10001. jpg

3) URL

写真データをインターネット環境から参照できるようにしている場合、各写真データの URL を記載する。

(例) <https://www.xxx.xx.jp/photo/100/10001.jpg>

4) ライセンス

写真データの利用条件を示すライセンスを記載する。

(例) クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0国際 (CC BY 4.0)

【写真データの格納方法】

写真データのファイルは、管理用ファイルに示すパス名に格納する。バリアフリー施設等データと関連付けて管理することを想定するため、バリアフリー施設等データの施設 ID 及びバリアフリー設備 ID を名称とするフォルダごとに格納しておく扱い易いと考えられる。以下にその例を示す。

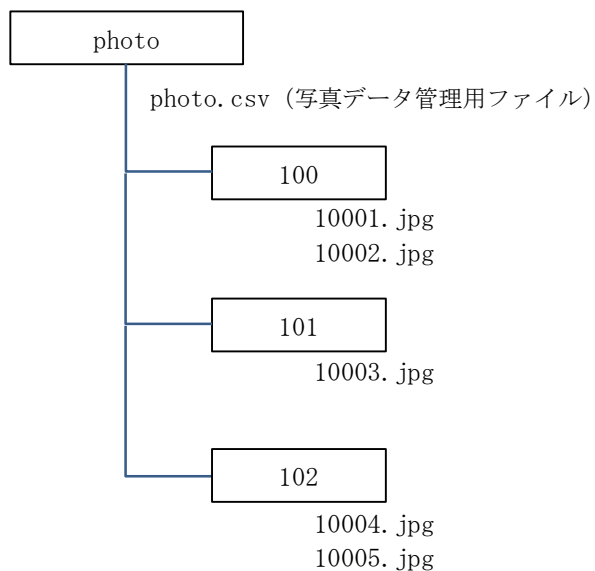


図 3. 5. 1 写真データ格納フォルダの構成 (例)

3. 6 「利用時間」データの整備仕様

3. 6. 1 利用時間データの整備仕様

(1) 利用時間データの情報項目と属性情報

利用時間データに対して設定される情報項目及び属性情報は以下の項目とする。

表3. 6. 1 利用時間データの情報項目と属性情報

【区分】

- ：優先項目（基本情報（名称、緯度経度、等））
- ◎：建築設計標準等の各種基準類や当事者のニーズ等により整理した優先度の高い情報項目
- ：その他あると望ましい情報項目

No.	情報項目	フィールド名	形式	属性情報	区分
1	ID	hoursId	文字列（半角英数字）	管理用 ID	●
2	施設 ID	facilId	文字列（半角英数字）	利用時間を紐付ける施設の施設 ID（「施設」データが対象の場合に記載）	●
3	バリアフリー設備 ID	equipId	文字列（半角英数字）	利用時間を紐付けるバリアフリー設備のバリアフリー設備 ID（「バリアフリー設備」データが対象の場合に記載）	●
4	定義開始日	from	文字列	利用時間の定義開始日（YYYY-MM-DD）	◎
5	定義終了日	through	文字列	利用時間の定義終了日（YYYY-MM-DD）	◎
6	利用時間	hours	文字列	利用可能時間（記載形式は取得方法を参照）	◎
7	備考	note	文字列	特記事項等	○
8	データの作成年月日	createdAt	文字列	データの作成年月日（YYYY-MM-DD）	●
9	データの変更年月日	updatedAt	文字列	データの変更年月日（YYYY-MM-DD）	●
10	データの削除年月日	deletedAt	文字列	データの削除年月日（YYYY-MM-DD）	●

(2) 利用時間データの属性情報の取得方法

(1) ID

利用時間データのIDを設定する。

(2) 施設ID

利用時間を紐付ける施設の施設IDを記載する。

(3) バリアフリー設備ID

利用時間を紐付けるバリアフリー設備のバリアフリー設備IDを記載する。

(4) 定義開始日

利用時間の適用期間がある場合、データを適用する期間の初日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。毎年同一の月日が初日となる場合は「MM-DD」形式で記載する。

例：

- 2020年4月1日より適用：2020-04-01
- 毎年4月1日より適用：04-01

(5) 定義終了日

利用時間の適用期間がある場合、データを適用する期間の末日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。毎年同一の月日が末日となる場合は「MM-DD」形式で記載する。

例：

- 2020年4月30日まで適用：2020-04-30
- 毎年4月30日まで適用：04-30

(6) 利用時間

利用可能な曜日・時間を確認し、以下の形式に則って記載する。

- 原則、利用可能な「曜日」とその曜日に利用可能な「時間」を組にして記載する。「曜日」と「時間」は半角スペース「 」で区切って記載する。
- 「曜日」「時間」の組を複数記載する場合は、組毎にセミコロン「;」で区切って記載する。
- 終日利用できない曜日については、組となる「時間」にハイフン「-」を記載する。または、「曜日」「時間」の組を記載しない。
- 利用可能な時間が不明な曜日については、「曜日」「時間」の組のうち「時間」を省略して「曜日」のみを記載する。この場合、「備考」に説明を記載する。
- すべての曜日で利用可能な時間が同一の場合は、「曜日」「時間」の組を記載せず「時間」のみを記載する。または、同一の時間を持つ「曜日」「時間」の組をすべての曜日で記載する。
- 「曜日」は「月・火・水・木・金・土・日」から選択して記載する。
- 「曜日」を複数個まとめて記載する場合は、「月・火・水・木・金・土・日」の順序に従いカンマ「,」で区切って記載する。連続する曜日の場合は、前述の順序に従い、連続するすべての曜日をカンマ「,」で区切って記載するか、最初の曜日と最後の曜日をハイフン「-」で繋げて記載する。
- 休日に利用可能な時間を記載する場合は、「曜日」に「休」を記載する。
- 「時間」は 24 時制に従い開始時刻と終了時刻をハイフン「-」で繋げて「hh:mm-hh:mm」形式で記載する。ただし、時刻の「hh」が一桁である場合は「h:mm」で記載する。
- 「時間」が複数の時間帯に分かれる場合は、カンマ「,」で区切ってすべて記載する。
- 「時間」が日をまたぐ場合は、終了時刻に 24:00 以降の時刻を記載する。

例：

- 月～金は 9:00～20:00 で利用可能
土・日は 10:00～12:00、14:00～19:00 で利用可能
どの曜日であっても休日は 10:00～18:00 で利用可能：
「月-金 9:00-20:00;土,日 10:00-12:00,14:00-19:00;休 10:00-18:00」
- 月は終日利用不可
その他の曜日は 9:00～20:00 で利用可能：
「月 -;火-日 9:00-20:00」または「火-日 9:00-20:00」
- 毎日 9:00～翌 2:00 で利用可能：
「9:00-26:00」または「月-日 9:00-26:00」

(7) 備考

利用時間に関する特記事項がある場合は記載する。

(8) データの作成年月日

データの作成年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(9) データの変更年月日

データの変更年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

(10) データの削除年月日

データの削除年月日を「YYYY-MM-DD」形式で記載する。年月までで記載する場合は「YYYY-MM-01」と記載する。

例：2020-01-15

【利用時間が期間により複数設定されている場合の作成方法】

施設・バリアフリー設備は、期間により利用時間が異なる場合がある。その場合は、1つの施設またはバリアフリー設備に対して、適用期間の異なる複数の利用時間データを作成する。以下にその例を示す。

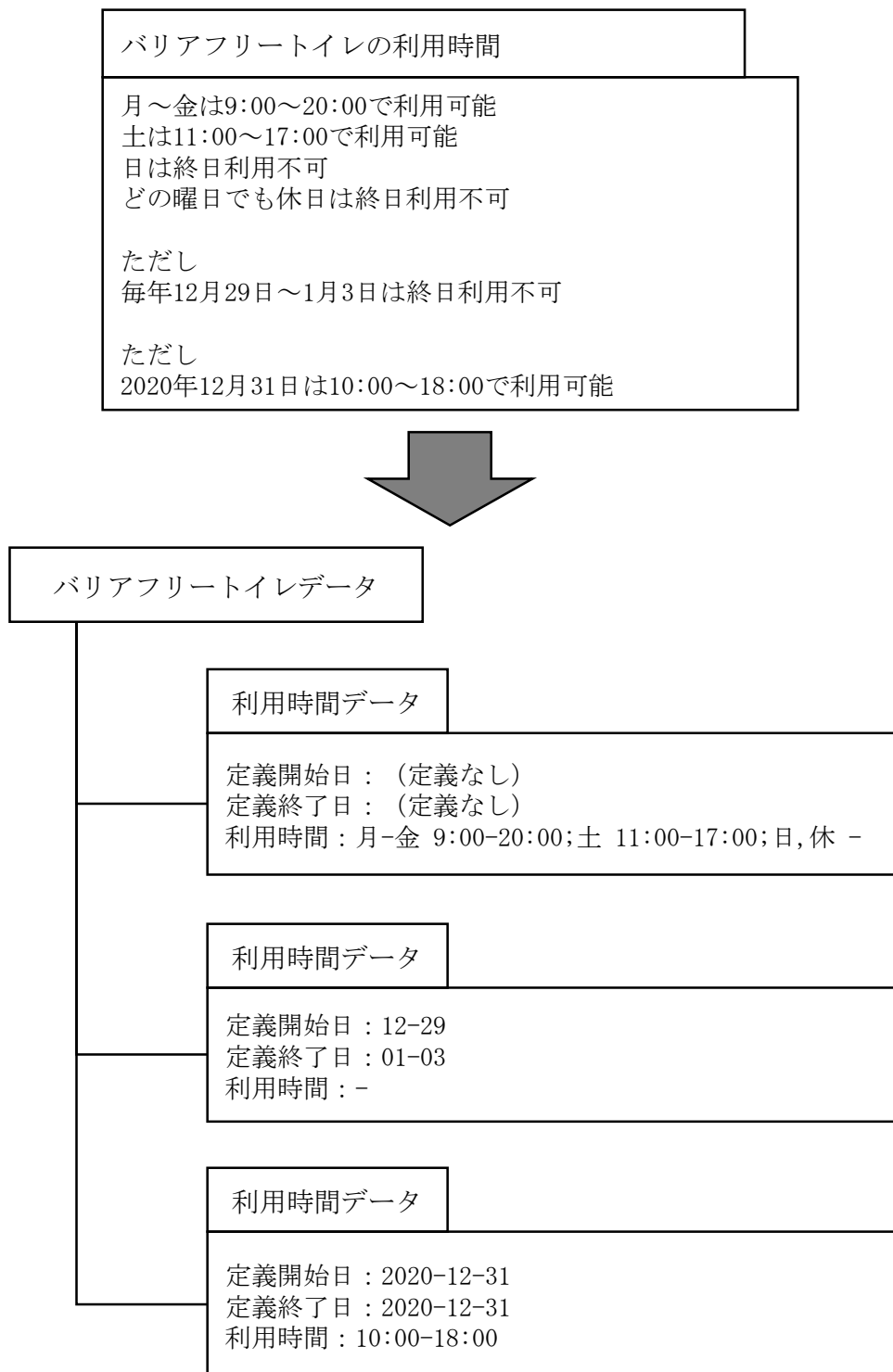


図 3. 6. 1 利用時間が期間により複数設定されている場合の利用時間データ作成 (例)

3. 7 バリアフリー施設等データのデータフォーマット

データは、CSV ファイルやシェープファイル、GeoJSON ファイル、XML (GML) ファイル等オープンデータに適したデータフォーマットで整備する。

【解説】

1) データフォーマット

本仕様に基づき整備するバリアフリー施設等データは、歩行空間における移動支援サービスの創出に活用できるよう、オープンデータとして二次利用可能なデータフォーマットで公開する。

2) メタデータの作成

バリアフリー施設等データを公開する際には、データ作成者やデータ更新日を示したメタデータを公開することを基本とする。

3) データファイル名

データファイル名は、データ利用者がファイル名を変更せずに全国統一的に利用できるように配慮するとともに、半角英数字で設定することを基本とする。以下に、各データのファイル名の例を示す。

例：

- ・施設データ：「facility.csv」、 「facility.shp」
- ・施設属性データ：「facility_ext.csv」
- ・バリアフリースイッチデータ：「bf_toilet.csv」、 「bf_toilet.shp」
- ・バリアフリー対応エレベーターデータ：「bf_elevator.csv」、
「bf_elevator.shp」
- ・車椅子利用者用駐車施設等データ：「bf_parking.csv」、 「bf_parking.shp」
- ・乳幼児用施設データ：「nursing_room.csv」、 「nursing_room.shp」
- ・出入口データ：「entrance.csv」、 「entrance.shp」
- ・写真データ管理用ファイル：「photo.csv」
- ・利用時間データ：「time.csv」

また、データを整備したエリア（市区町村）をフォルダ名とするフォルダにファイルをまとめて格納し、データを公開することを基本とする。

4) 文字コード

文字コードは、「UTF-8」を利用することを基本とする。